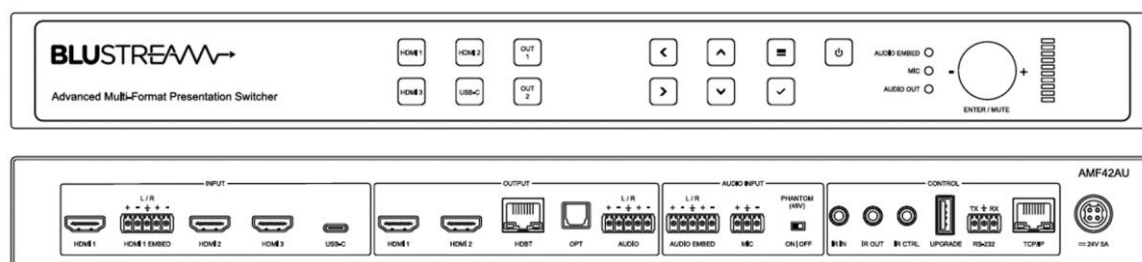


Blustream

4 入力 2 出力マルチフォーマット対応 プレゼンスイッチャー

取扱説明書



改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver1.0	2022/3/18	初版
Ver1.1	2023/06/30	連絡先情報の更新

安全上のご注意



この度は、AMF42AU をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。


本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みにになり、内容をご確認のうえにご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

 <p>警告</p>	<p>誤った取扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。</p>
 <p>注意</p>	<p>誤った取扱いをしたときに軽傷または建築物・財産などの損害に結びつくもの。</p>

本取扱説明書内に使われている記号(例)の意味は下記の通りです。

	<p>操作に関するヒントまたは追加情報です。</p>
---	----------------------------

**警告**

- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本取扱説明書で記載されている以外の使い方をしないでください。本取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止し、販売店または弊社カスタマーサービスにご連絡ください。
- 本製品および、使用するケーブル類を他の高温部(暖房機器など)に近づけないでください。変形したり、保護部が溶けたりし、感電や火災の恐れがあります。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止して、PoE電源供給LANケーブル(またはACアダプター)およびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- LAN ケーブル、または AC アダプターを抜き挿しする場合は、必ず挿入部を持って抜いてください。コードを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。

**警告**

- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。水洗いは絶対に行わないでください。変色や変形、故障の原因になります。汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けてよく絞ってからふき、その後乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶついたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のためLANケーブルやACアダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。火災や故障の恐れがあります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。
- LANケーブルやACアダプターの取付け取外しの際は慎重に作業を行ってください。機器の故障の原因となります。

**注意**

- LANケーブルは、電気ケーブル、変圧器、照明器具などの電波干渉の発生源となりうるものから、できるだけ離れた場所に配線するようにしてください。また、これらのケーブルは、電線用導管などに接続したり、電灯設備の上に置いたりしないでください。
- 本製品を密閉された場所、屋外での使用や、長時間の連続使用は避けてください。
- 付属のACアダプターは専用品です。他社製品はご使用になれません。
- 本製品両側の排熱口を塞がないようにしてください。排熱がうまくいかずに故障する恐れがあります。また、排熱口を定期的に掃除してください。

**注意**

- 本機に接続するケーブルには抵抗入りケーブルを使用しないでください。
- 本製品を譲渡された場合、または中古品に関してのサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。内容については、各地方自治体へお問い合わせください。
- 電源を入れたまま、ケーブルの抜き差しを行わないでください。損傷の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	7
製品特長	7
各部名称	8
LAN(RJ-45)端子ステータス説明	10
HDBaseT 出力端子ステータス説明	10
RS-232 変換ケーブル D サブ 9 ピンコネクタピンアサイン	10
入出力フォーマット一覧	11
入力フォーマット一覧(EDID)	11
出力フォーマット一覧	12
接続図	13
接続ケーブルについて	14
LAN ケーブルの選択	14
IR ケーブルの接続	15
基本の操作	16
電源を入れる/切る	16
本体前面ボタンで操作する	16
本機の電源入れ・切り	16
出力映像の切り替え	17
OSD メニューの操作	17
音量調整	18
IRリモコンで操作する	19
ウェブ GUI で操作する	20
ウェブ GUI へのログイン	20
出力映像の切り替え プリセットの保存・呼び出し	21
入力・出力オーディオ設定	23
入力フォーマットの設定	25
出力フォーマットの設定	25
HDMI-CEC コマンド送信	28
RS-232 コマンド送信	29
ネットワークの設定	31
本機ファームウェアバージョン情報の確認	31
ウェブ GUI ログインアカウント操作権限の設定	32
設定のリセット	33
その他設定	33
RS-232 で操作する	34
シリアル通信設定値	34
ターミナルエミュレータソフトウェア設定例(Tera Term)	34
RS-232 及び Telnet コマンド	35
システムインフォメーションコマンド	35
システムコントロールコマンド	37
映像入出力コントロールコマンド	38
音声コントロールコマンド	40
CEC コマンド設定コマンド	41

RS-232 通信設定コマンド.....	43
ネットワーク設定コマンド	44
Windows PC での Telnet 通信を行う前の設定	45
PC の設定 - TFTP&Telnet を有効にする.....	46
PC の設定 - IP アドレスの固定方法.....	47
FAQ よくある質問.....	49
主な仕様	50
外形寸法	51
ラックマウント及び本体用足の取付方法.....	52
サポート専用問い合わせ先.....	53

製品概要

本機は、最大 4K@60 4:4:4(18Gbps)信号入力可能な HDMI 入力 3 系統と USB Type-C 入力 1 系統の計 4 系統入力端子に、任意のフォーマットへアップ(ダウン)スケーリング変換、および、ルーティング出力可能な 2 系統の HDMI 出力と 1 系統の HDBaseT 出力端子を搭載したシームレス切替え対応マルチフォーマットプレゼンスイッチャーです。

製品特長

- 最大 4K UHD 60Hz 4:4:4 までのフォーマットに対応
- HDMI 入力 x3 系統、USB Type-C 入力(DP1.2)x1 系統
- HDMI 出力 x2 系統、HDBaseT 出力 x1※1 ※2
- シームレス切換
- 外部音声入力 x3 系統(内 1 系統ファンタム電源 48V 対応)
- バランス、アンバランスオーディオ入出力対応
- オーディオディエンベデッド機能(アナログ+デジタル 各 1 系統)
- トークオーバー機能
- HDBaseT で各種信号を最大 70m 延長(4K 信号 40m まで)
- 専用 HDBaseT 受信器経由での RS-232 コマンド送信
- 多様な制御方法 | 本体タッチボタン/IR リモコン/ウェブ GUI/RS-232
- USB Type-C 経由 PD 対応(最大 40W)
- EIA ラックマウント取付対応

※1 HDMI 出力 1 端子、HDMI 出力 2 端子は異なる映像を出力できます。

※2 HDMI 出力 2 端子と HDBaseT は同じ映像・音声を出力します。

※ 本機のウェブ GUI から送信される CEC コマンド及び伝送する CEC コマンドは、接続する機器により、一部の操作ができない場合があります。

※ RJ-45 ポートは 100BASE-TX 仕様です。

※ 入力された信号が 4K 4:2:2 フォーマットの場合、自動ダウンスケーリングは機能しません。

※ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ HDBaseT は、HDBaseT Alliance の商標登録です。

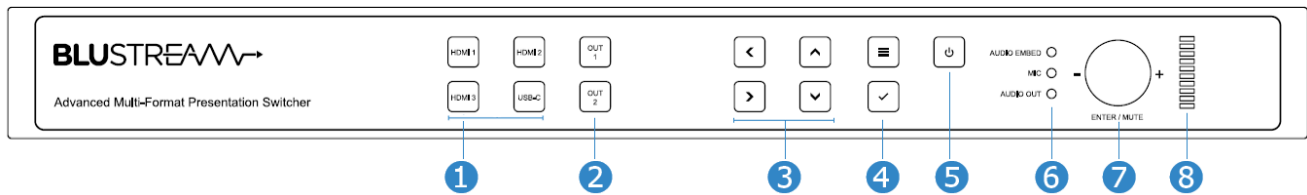
※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 伝送距離はご利用環境などによって変動します。

※ 仕様は改良の為、予告なく変更する場合がございます。

各部名称

前面

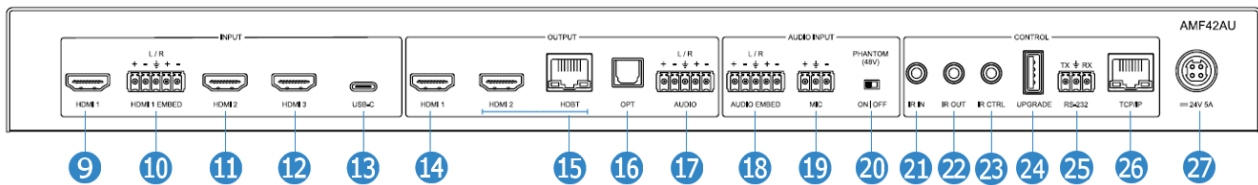


番号	表示・アイコン	説明
①	HDMI 1/2/3 USB-C	ソース選択ボタンです。背面の HDMI 1/2/3 入力、USB-C 入力を選択します。 選択されているソース：青色に点灯
②	OUT1/OUT2	ディスプレイ選択ボタンです。背面の HDMI 1 出力、HDMI 2/HDBT 出力を選択します。 選択されているディスプレイ：青色に点灯
③	◀ ▶ ▲ ▼	OSD メニュー操作用方向ボタンです。
④	☰ ✓	OSD メニュー表示、確定ボタンです。
⑤	⏻	電源タッチボタンです。長押しで本機を電源オン/オフします。 電源オン：青色に点灯； 電源オフ：白色に点灯
⑥	AUDIO EMBED / MIC / AUDIO OUT	入力レベルや出力音量の調整時、選択したソースを示すランプです(青色に点灯)。 ・AUDIO EMBED：⑱アナログオーディオ入力(5 ピンターミナルブロック)のレベル調整時 ・MIC：⑲マイク入力(3 ピンターミナルブロック)のレベル調整時 ・AUDIO OUT：⑳アナログオーディオ出力(5 ピンターミナルブロック)の音量調整時
⑦	ENTER / MUTE	オーディオ選択・音量調整用つまみです。 ・押す：調整したいソースの選択(AUDIO EMBED / MIC / AUDIO OUT) ・時計回り：音量アップ ・反時計回り：音量ダウン
⑧	レベルメータ	オーディオ音量を示すレベルメータ(目安)です。

※ 本機前面タッチボタンのランプは操作完了してから約 30 秒後自動的に消灯します。(電源ランプを除く)

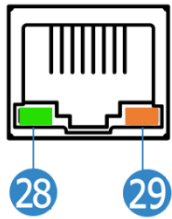
※ OSD メニュー表示は操作完了してから約 8 秒後自動的に消灯します。

背面



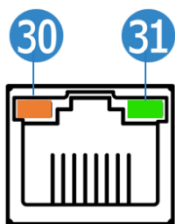
番号	端子・スイッチ	説明
9	HDMI 1 入力端子	HDMIソース機器と接続します。
10	HDMI 1 入力専用アナログオーディオ入力端子	HDMI 1に外部音声をエンベデッドします。 ※付属の5ピンターミナルブロック端子を加工する必要があります。
11	HDMI 2 入力端子	HDMIソース機器と接続します。
12	HDMI 3 入力端子	HDMIソース機器と接続します。
13	USB Type-C 入力端子	DisplayPort 1.2Alt モードに対応している USB Type-C ソース機器と接続します。※この端子は4K 60Hz 4:4:4 までの映像信号に対応しています。音声信号はPCM 2chのみ対応します。 ※USB Type-C 端子は最大40WのUSB Power Delivery (PD)給電に対応しています。
14	HDMI 1 出力端子	ディスプレイ機器に接続します。
15	HDMI 2 / HDBT 出力端子	ディスプレイ機器に接続します。※HDMI 2 出力端子と HDBaseT 出力端子は同じ映像が出力されます。
16	光デジタルオーディオ出力端子	音声信号を出力します。 ※出力するソースは、本機のウェブ GUI のメニュー、またはRS-232/Telnetコマンドで選択してください。 ※音量は接続するアンプ機器で調整してください。
17	アナログオーディオ出力端子	音声信号を出力します。 ※出力するソースや音量は、本機のウェブ GUI のメニュー、またはRS-232/Telnetコマンドで選択してください。 ※付属の5ピンターミナルブロック端子を加工する必要があります。
18	アナログオーディオ入力端子	外部音声をエンベデッドします。 ※付属の5ピンターミナルブロック端子を加工する必要があります。
19	マイク入力端子	バランスまたはアンバランスマイクと接続します。48V ファンタム電源をマイクへ供給できます(20ファンタム電源オン/オフスイッチで設定)。 ※マイクを本機に接続する際、付属の3ピンターミナルブロック端子を加工する必要があります。
20	ファンタム電源オン/オフスイッチ	ファンタム電源 48V をオン/オフ切り替えます。 ※本機に接続するマイクの仕様に合わせ、当スイッチを切り替えてください。
21	IR信号受信ケーブル接続端子	IR 信号受信 3.5mm ステレオジャックです。付属の5V IR レシーバ(IRR)を接続します。
22	IR信号送信ケーブル接続端子	IR 信号送信 3.5mm モノラルジャックです。付属の5V IR レシーバ(IRE)を接続します。
23	本機制御専用IR信号受信ケーブル接続端子	IR 信号受信 3.5mm ステレオジャックです。付属のIR リモコンで本機を制御するには、付属の5V IR レシーバ(IRR)を接続してご利用ください。 ※本機の前面にはIR 信号受光器を搭載していません。
24	USB タイプ A 端子(メス)	本機のファームウェアアップデート用ファイル、またはカスタマイズ EDID ファイルの読み込み用 USB 端子です。
25	RS-232 通信端子	PC やサードパーティコントロールデバイスと接続しシリアル通信を通じて本機を制御できます。
26	LAN 端子(RJ-45)	ウェブ GUI また RS-232(Telnet)を使って、本機を制御します。
27	電源入力端子	付属の AC アダプターを接続します。

LAN(RJ-45)端子ステータス説明



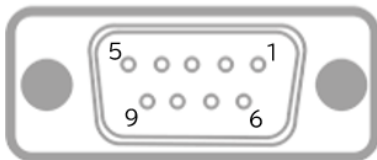
番号	ステータス	説明
28	消灯	電源オフ、またはネットワークスイッチに接続していない
	緑色点灯	データ通信中
29	消灯	電源オフ、またはネットワークスイッチに接続していない
	橙色点滅	データ通信中

HDBaseT 出力端子ステータス説明



番号	ステータス	説明
30	消灯	PoC 電源供給していない
	橙色点灯	PoC 電源供給している
31	消灯	通信していない
	緑色点灯	映像信号転送中

RS-232 変換ケーブル D サブ 9 ピンコネクタピンアサイン



D-Sub 9ピン(メス)

ピン番号	アサイン
1	NC
2	Tx
3	Rx
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC

入出力フォーマット一覧

入力フォーマット一覧(EDID)

EDIDとは、Extended Display Identification Data(拡張ディスプレイ識別データ)の略で、ディスプレイ機器とソース機器の間で使用されるデータ構造です。ディスプレイ機器側がサポートしているビデオとオーディオのフォーマットをソース機器に伝えることで、ソース機器側から最適なフォーマットの信号を正しく伝送することができるようになります。

EDIDは本来ディスプレイ機器とソース機器のシンプルな接続を可能にするための技術ですが、スイッチャーや分配器、複数のディスプレイなど、複雑な接続になるほど変数が増加し、EDIDのやり取りでエラーが発生しやすくなります(機器同士のハンドシェイクエラー)

本機では、ソース機器及びディスプレイ機器のビデオ・オーディオフォーマットを事前に確定し、保持しておくことにより、機器同士のハンドシェイクを迅速化し、エラーを回避することができます。

ウェブ GUI または RS-232 で設定・変更することができます。

本機で設定できる EDID パターンは以下の通りです。

EDID	HDMI 1080p@60Hz, Audio 2CH PCM(デフォルト)
	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 2CH PCM
	HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 2CH PCM
	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 2CH PCM
	DVI 1280x1024@60Hz, Audio None (音声なし)
	DVI 1920x1080@60Hz, Audio None (音声なし)
	DVI 1920x1200@60Hz, Audio None (音声なし)
	HDMI 1920x1200@60Hz, Audio 2CH PCM
	EDID Passthrough1(Copy from HDBT)
	EDID Passthrough2(Copy from HDMI OUT1)
	EDID Passthrough3(Copy from HDMI OUT2)
	User EDID 1
	User EDID 2
	Copy EDID From HDMI OUT1
	Copy EDID From HDMI OUT2
	Copy EDID From HDBT OUT

カスタムEDIDファイルの本機に読み込ませて保存することが可能です。カスタムEDIDファイルは、EDIDツールを使用しカスタムEDIDファイルを作成してください。

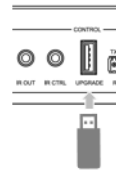
カスタムEDIDファイルの本機への保存手順

1. 事前に用意したカスタムEDIDファイル名を‘EDID.bin’に変更します。
2. USBメモリーにカスタムEDIDファイルを保存します。
3. 本機背面のUSBポートに差し込みます。
4. 本機とPC間のRS-232シリアル通信(RS-232またはTelnet)をセットし、RS-232コマンド‘EXTEDIDSAVE zz’でカスタムEDIDファイルの本機の読み込ませ、保存します。



EDID.bin

1. ファイル名変更

2. USBメモリーにEDID
ファイルを保存3. USBメモリーを
本機に接続4. RS-232コマンドで
EDIDファイルを保存

※カスタム EDID を保存できる領域 ID(zz)は[08]または、[09]です。

出力フォーマット一覧

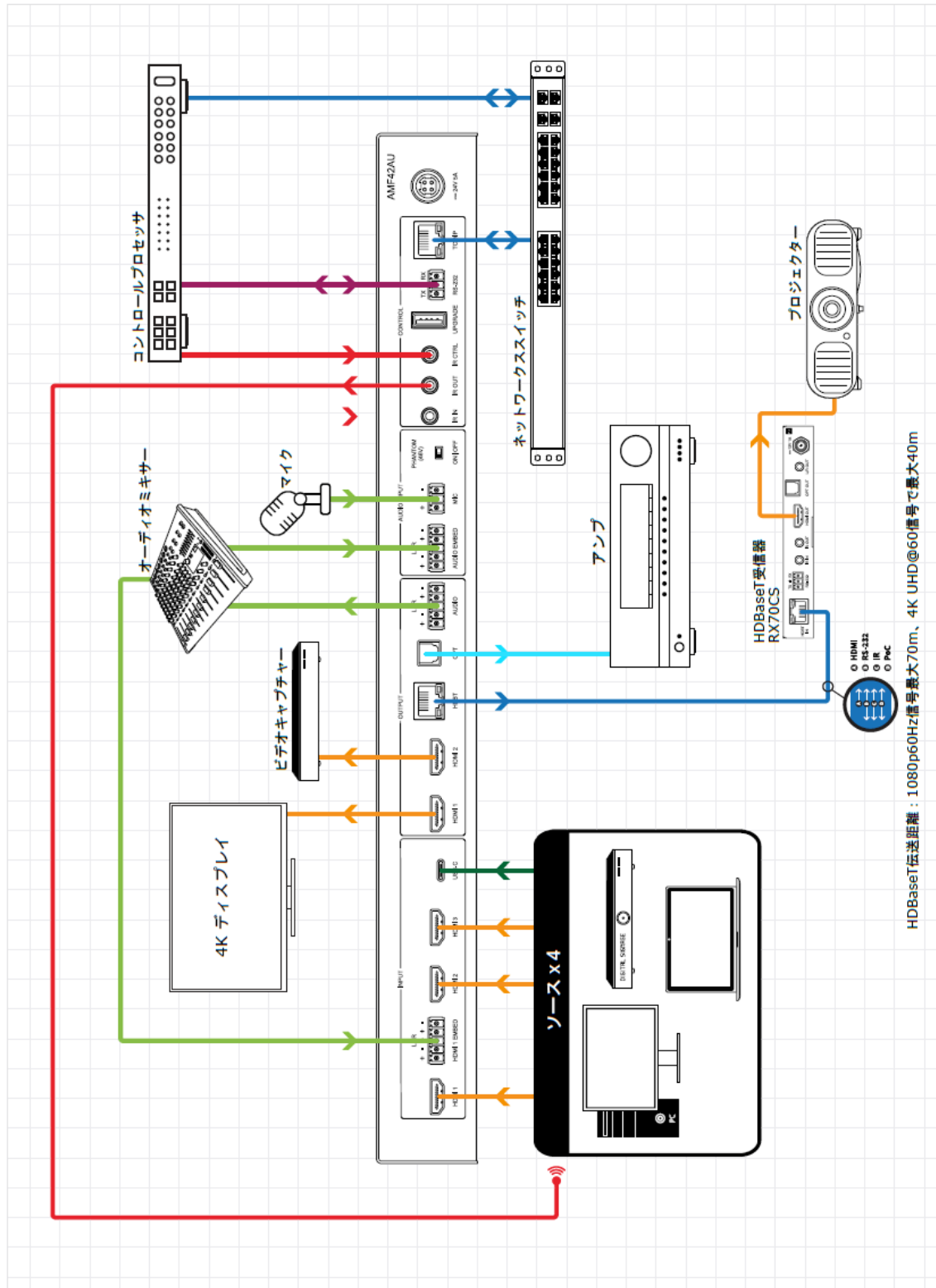
本機は、出力映像信号のスケーリングに対応しています。ウェブ GUI または RS-232 で設定・変更することができます。

本機対応の出力フォーマット一覧は以下の通りです。

フォーマット	1024x768@60Hz
	1280x800@60Hz
	1360x768@60Hz
	1440x900@60Hz
	1680x1050@60Hz
	1920x1200@60Hz
	720p@50Hz
	720p@60Hz
	1080p@50Hz
	1080p@60Hz
	4K2K@30Hz
	4K2K@50Hz
	4K2K@60Hz
	Auto(オート)

※ Auto(オート)は、HDMI 2出力および HDBT 出力のみ設定ができます。

接続図



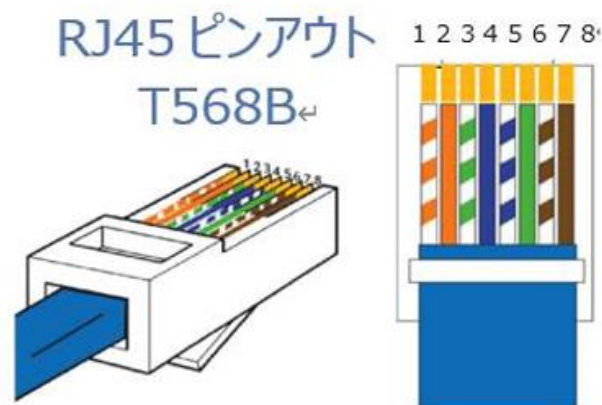
BLUStream

接続図
AMF42AU

接続ケーブルについて

LAN ケーブルの選択

本機に接続する LAN ケーブルは、正しい RJ45 ピン構成で終端してください。LAN ケーブルは「ストレート」（ピン対ピン）、EMI 電磁干渉の影響を受けにくい T568B 結線規格で配線することを推奨します。LAN ケーブルを敷設する際には、できるだけ高品質な LAN ケーブルを採用することをお勧めします。本機は、CAT5e 規格以上のケーブルで動作しますが、Blustream 社では CAT6 規格ケーブルを採用することを推奨しています。特に、長距離を敷設する場合や、EMI の高いエリア、また 4K 信号伝送する場合はカテゴリの高いケーブルをご利用ください。



IR ケーブルの接続

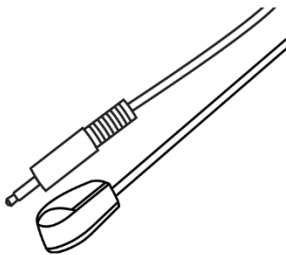
重要

Blustream 社の IR 赤外線製品は全て 5V にて設計されています。他社の IR 赤外線製品をご利用の場合は、5V IR であることをご確認ください。12V IR 赤外線製品を使用する場合は、12V から 5V へ変換する IR コントロールケーブル IR-CAB(別売り)をご利用ください。

本機は、5V IR レシーバ(IRR)x1 組と 5V IR エミッター(IR1)x1 組が付属されています。

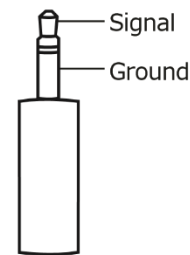
IREミッター - IR1 & IR2 (IR2は別売り)

Blustream 5V IREミッターは、ハードウェアを個別にIR制御するために設計されています。



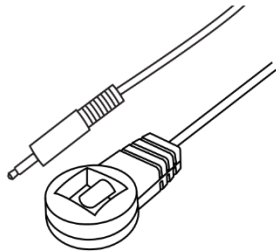
赤外線 3.5mmピンアウト

IREミッター - モノラル3.5mm

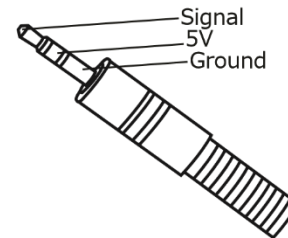


IR レシーバ - IRR

Blustream 5V IRレシーバー：IR信号を受信し、Blustream製品を制御します。



IRレシーバ - ステレオ 3.5mm

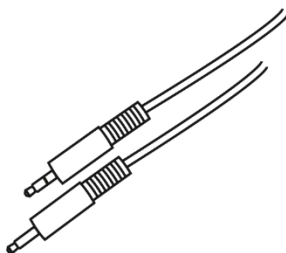


IRコントロールケーブル - IR-CAB (別売り)

Blustream IRコントロールケーブル (3.5mm モノラル → 3.5mmステレオ変換) 他社製コントロールシステムをBlustream製品に接続するためのケーブルです。

12V IR製品との互換性があります。

ご注意：ケーブルは表示通りの方向性を持っています



基本の操作

電源を入れる/切る

本機に他の機器を正しく接続したら、必ず次の手順で電源のオン・オフをしてください。誤った手順で操作すると、誤作動や故障の原因になる場合があります。

本機の電源を入切する時は、接続する機器及び本機の音量を最小まで下げてください。

本機の電源を入れるには下記の通りの方法があります。

- ACアダプターを通電すると、自動的に電源が入ります
- 本機前面パネルの電源タッチボタンで電源を入れる
- ウェブGUIで電源を入れる
- RS-232 シリアルコマンドで電源を入れる

電源を入れる手順

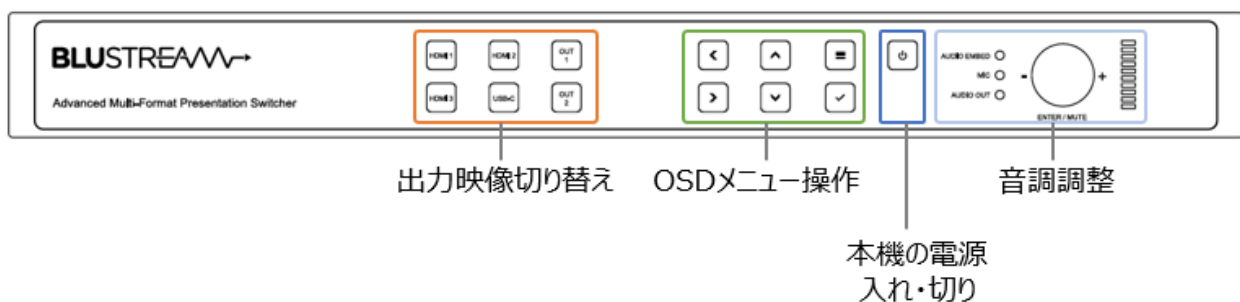
1. 本機に接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認し、付属 AC アダプターの DC プラグを電源入力端子に接続します。
2. 本機の電源を入れます。(本機前面電源タッチボタン/ウェブ GUI/RS-232 シリアル通信)
3. ソース機器 → 出力機器の順に電源を入れます。

電源を切る手順

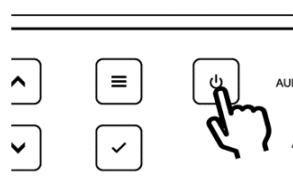
1. 出力機器 → ソース機器の順に電源を切ります。
2. 本機の電源を切ります。(本機前面電源タッチボタン/ウェブ GUI/RS-232 シリアル通信)

本体前面ボタンで操作する

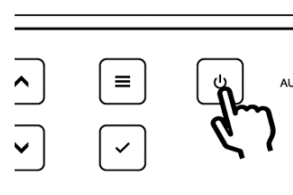
本機の前面ボタンで下記の操作を行うことができます。



本機の電源入れ・切り



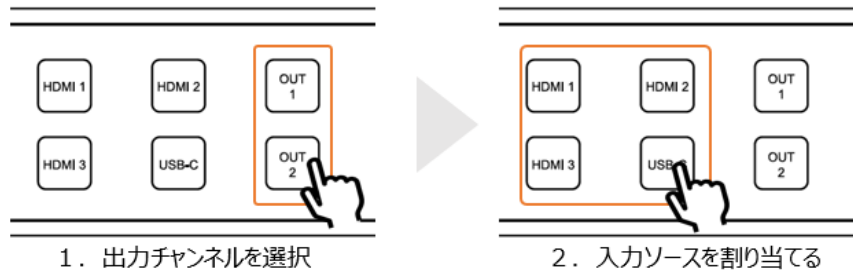
電源オン：約3秒間長押し



電源オフ：約3秒間長押し

出力映像の切り替え

切り替え手順



OSD メニューの操作

本機の HDMI 1 出力、HDMI 2 出力及び HDBT 出力端子に接続されているディスプレイ機器に OSD メニュー表示することができます。

OSD メニュー表示方法



OSD メニュー操作方法

前面タッチボタン	付属 IR リモコンボタン	説明
MENU	MENU	OSD メニュー表示/戻る
		メニュー項目選択
		メニュー項目選択
	OK	確定
		戻る

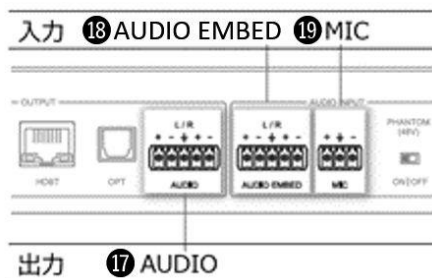
OSD メニュー項目説明

メニュー項目	説明
Output 1 Source	出力 1 に割り当てられている入力ソース
Output 2 Source	出力 2 に割り当てられている入力ソース
Output 1 Resolution	出力 1 の出力解像度
Output 2 Resolution	出力 2 の出力解像度
SW Version	本機のファームウェア、MCU、GUI のバージョン情報
IP	本機の IP アドレス

※ OSD メニューから各種設定値の変更はできません。

音量調整

本機前面パネルで下記の入/出力オーディオの音量を調整することができます。



音量調整方法

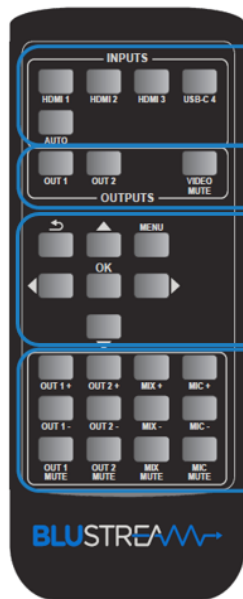


1. つまみを押してオーディオを選択

2. つまみを回して音量を調整
 - 時計回り：音量アップ
 - 反時計回り：音量ダウン

IRリモコンで操作する

付属 IR リモコンの操作方法



付属IRリモコンの各操作エリアの説明

操作エリア	説明
A	出力チャンネルを選択します。 VIDEO MUTE:映像をミュート(音声はミュートされません) ※VIDEO MUTEボタンを押してミュートしたい出力チャンネル(OUT1またはOUT2)を押します(MUTE解除時も同じ)
B	入力ソースを割り当てます。 HDMI 1/2/3:HDMI入力1/2/3を選択 USB-C: USB Type-C入力を選択 AUTO: ソースを自動選択(新しく接続されたソース)
C	OSDメニューを操作します。 ▲▼◀▶SDメニューを表示 : 上下左右方向ボタン OK: 確定ボタン : 戻るボタン
D	出力1・2の音量、及び外部オーディオ入力・マイク入力の音量を調整します。 OUT 1: HDMI出力1 OUT 2: HDMI出力2、HDBaseT出力 MIX: 外部オーディオ入力(5ピンターミナルブロック) MIC: マイク入力(3ピンターミナルブロック) +: 音量アップ -: 音量ダウン MUTE: ミュートオン/オフ

※ 付属 IR リモコンは CR2025 ボタン電池を使用します (電池は付属しません)。

注意

IR リモコンを本機の受光部へ向けて操作してください。
操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識しない場合があります。
また、受光部に強い光があたっていると、その光に受光部が反応して正しく認識しない場合があります。なお、付属の IR リモコンは、押し続けても連続して動作することができません。



AMF42AU背面



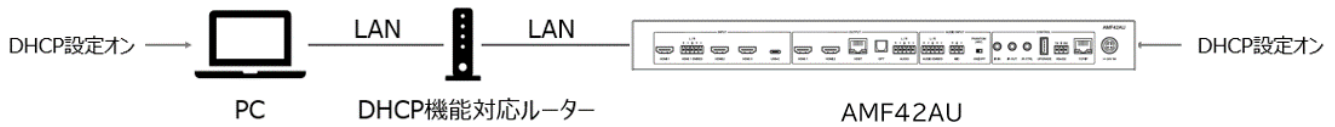
IR受信ケーブルの受光部

ウェブ GUI で操作する

ウェブ GUI へのログイン

ウェブ GUI へのログイン手順

1. DHCP 機能対応のルーターに本機と PC を接続します。



2. 本機の IP アドレスは OSD メニューで確認します。(OSD メニューの表示方法は「[OSD メニュー表示方法](#)」をご参照ください。)

※ 本機の初期設定:DHCP オン

3. PC 側でウェブブラウザ(Microsoft Edge や Google Chrome)を立ち上げ、URL 入力欄に、本機の IP アドレスを入力し、ウェブ GUI にアクセスします。



ウェブGUI初回ログイン画面 | ゲストモード
'Control'設定画面

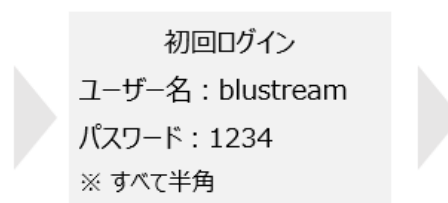


ウェブGUI初回ログイン画面 | ゲストモード
'Audio'設定画面

4. ウェブ GUI でログインします。



'Login'をクリック



ログインユーザー名、パスワードを入力



'Login'をクリック

ウェブ GUI 画面構成



ウェブGUI画面 | 電源オン時

メニュータブ
詳細設定メニュー
本機の電源オン/オフ | ウェブGUIログアウト

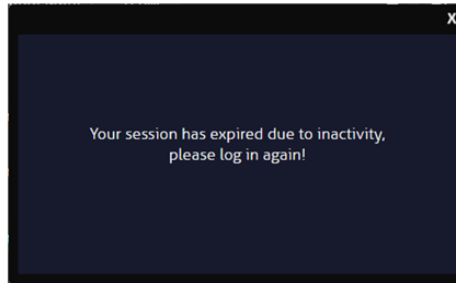


ウェブGUI画面 | 電源オフ時

注意

本体前面ボタン、IR リモコンで行った操作後のステータス情報はウェブ GUI に反映するには数秒間の時間が必要となります。最新の設定値をウェブ GUI にて確認するには、ページを更新 (Windows の場合、F5 キーを押す) してみてください。

ウェブ GUI への最終操作から一定時間(約 5 分間)経過後に自動的にログアウトされます。



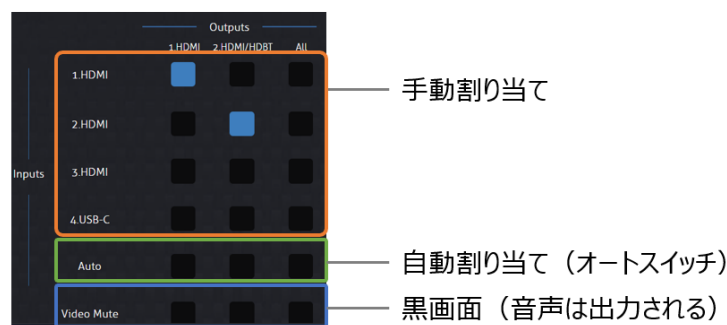
ウェブGUI自動ログアウト

出力映像の切り替え | プリセットの保存・呼び出し

ウェブ GUI ‘Control’ 設定メニューで各出力へのソースの割り当て、プリセットの保存・呼び出しなどの操作を行うことができます。

※ プリセットには、各出力への映像ソース割り当てのみ保存されます。入出力オーディオに関する設定は保存されません。

出力映像切り替え方法



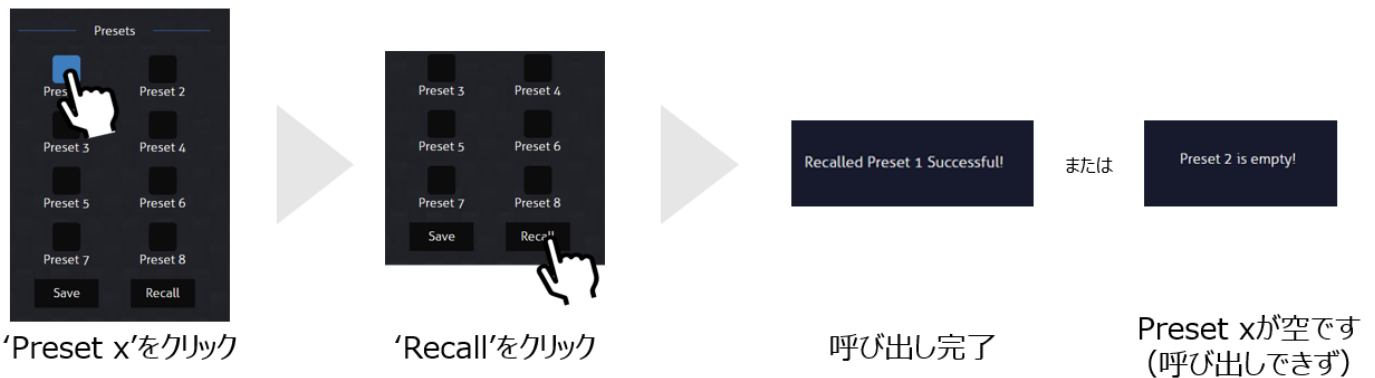
‘Control’設定メニュー

‘自動割り当て(オートスイッチ)’を有効に設定した場合、該当出力新たに入力されるソースに自動的に切り替えられます。

プリセットの保存方法



プリセットの呼び出し方法



プリセット設定名の変更方法

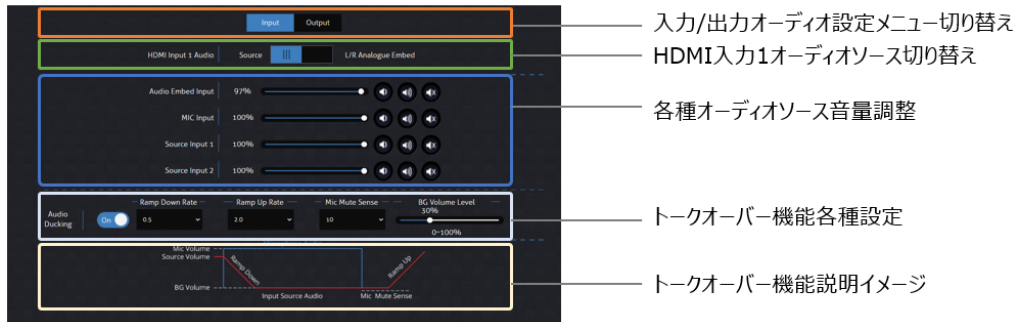
ウェブ GUI 設定メニュー 'Configuration' > 'Presets Name' の順にクリックし、入力欄にプリセット名を入力し、約 2 秒後に新しいプリセット名が適用されます。



入力・出力オーディオ設定

ウェブ GUI 'Audio' 設定メニューで、エンベデッド、ディエンベデッド、音量調整、トークオーバー機能を含む各種入力・出力オーディオに関する項目を設定することができます。

入力オーディオ設定



入力オーディオ各種設定 | 'Audio'>'Input'

設定項目	説明	設定値
HDMI Input 1 Audio	HDMI 入力 1 オーディオソースを設定します。	Source:HDMI 入力 1 のオリジナルソース L/R Analogue Embed:HDMI 入力 1 専用アナログオーディオ入力(5 ピンターミナルブロック)のソース
Audio Embed Input	アナログオーディオ入力の音量を調整します。	◀ :音量アップ; ▶ :音量ダウン ■ :ミュート
MIC Input	マイク入力の音量を調整します。	
Source Input 1	HDMI 入力 1 の音量を調整します。	
Source Input 2	HDMI 入力 2 の音量を調整します。	
Audio Ducking	バックグラウンド音声の自動減衰をオン/オフに設定します。	On:自動減衰する Off:自動減衰しない 初期設定値:On
Ramp Down Rate	バックグラウンド音声の段階的にミュートになるまでの時間を設定します。	調整範囲: 0~10 秒(0.5 秒ずつ) 初期設定値: 0.5 秒
Ramp Up Rate	バックグラウンド音声の段階的に元の音量に戻るまでの時間を設定します。	調整範囲: 0.5~10 秒(0.5 秒ずつ) 初期設定値: 2.0 秒
Mic Mute Sense	マイク音声が無音になってからバックグラウンド音声の減衰を開始するまでの時間を設定します。	調整範囲: 1~20 秒 初期設定値: 10 秒
BG Volume Level	バックグラウンド音声の音量の割合を調整します。	調整範囲: 0~100% 初期設定値: 30%

出力オーディオ設定



出力オーディオ各種設定 | 'Audio' > 'Output'

入力/出力オーディオ設定メニュー切り替え

各出力のオーディオミックスモード・音量調整設定

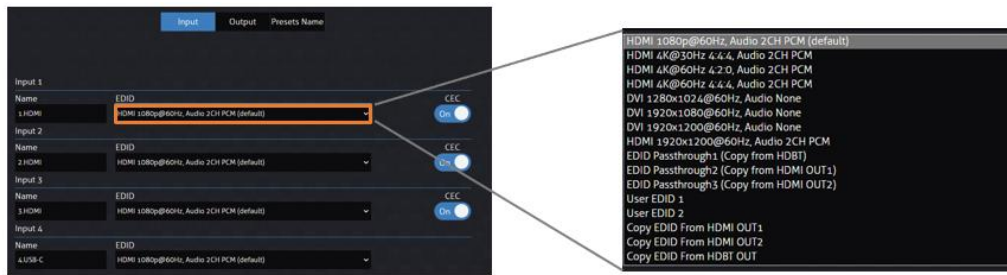
光デジタルオーディオ出力へのオーディオソース割り当て
・音量調整など設定

アナログオーディオ出力へのオーディオソース割り当て
・音量調整など設定

設定項目	説明	設定値
1. HDMI	HDMI 1出力へのオーディオソース割り当て及び、音量を調整します。	オーディオソース割り当て - HDMI: HDMI オリジナル音声 - Audio Embed: アナログオーディオ入力 - Mic: マイク入力
2. HDMI/HDBT	HDMI 2出力及び HDBaseT 出力へのオーディオソース割り当て及び、音量を調整します。	音量調整 - : 音量アップ - : 音量ダウン - : ミュート
Digital/SPDIF Output	光デジタルオーディオ出力へのソース割り当て、ARC 設定、ミュートオン/オフを設定します。	オーディオソース割り当て - RX ARC HDMI: HDBaseT 受信機 HDMI 経由 ARC オーディオソース - RX ARC Optical: HDBaseT 受信機光デジタルオーディオ入力経由 ARC オーディオソース - OUT 1: HDMI 出力 1 のオーディオソース - OUT 2: HDMI 出力 2 のオーディオソース 音量調整 - : ミュート
Analogue L/R Output	アナログオーディオ出力へのソース割り当て、音量調整、バランス/アンバランス切り替えを設定します。	オーディオソース割り当て - OUT 1: HDMI 出力 1 のオーディオソース - OUT 2: HDMI 出力 2 のオーディオソース 音量調整 - : 音量アップ - : 音量ダウン - : ミュート バランス/アンバランス切り替え - On: バランス - Off: アンバランス

入力フォーマットの設定

ウェブ GUI 'Configuration' > 'Input' 設定メニューで下記の設定またはステータス情報の確認ができます。



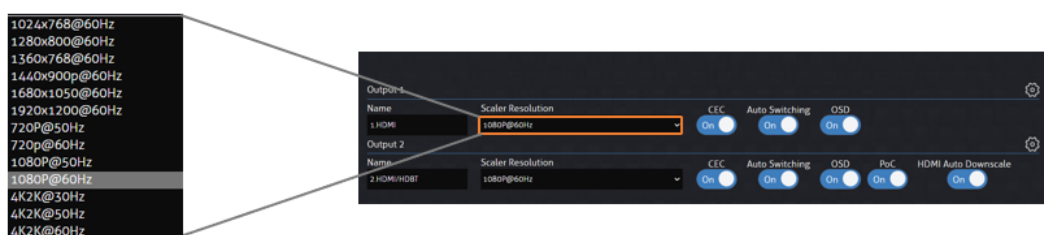
入力フォーマット設定 | 'Configuration' > 'Input'

入力フォーマット一覧

設定項目	説明	設定値
Name	各入力チャンネル名を変更します。	12 桁までの半角英数符号が入力可能
EDID	各入力フォーマットを設定します。	HDMI 1080p@60Hz, Audio 2CH PCM(デフォルト) HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 2CH PCM HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 2CH PCM HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 2CH PCM DVI 1280x1024@60Hz, Audio None (音声なし) DVI 1920x1080@60Hz, Audio None (音声なし) DVI 1920x1200@60Hz, Audio None (音声なし) HDMI 1920x1200@60Hz, Audio 2CH PCM EDID Passthrough1(Copy from HDBT) EDID Passthrough2(Copy from HDMI OUT1) EDID Passthrough3(Copy from HDMI OUT2) User EDID 1 User EDID 2 Copy EDID From HDMI OUT1 Copy EDID From HDMI OUT2 Copy EDID From HDBT OUT
CEC	本機のウェブ GUI から各入力への CEC コマンド送信を有効/無効に設定します。	On: 送信可能 Off: 送信不可

出力フォーマットの設定

ウェブ GUI 'Configuration' > 'Output' 設定メニューで下記の設定またはステータス情報の確認ができます。



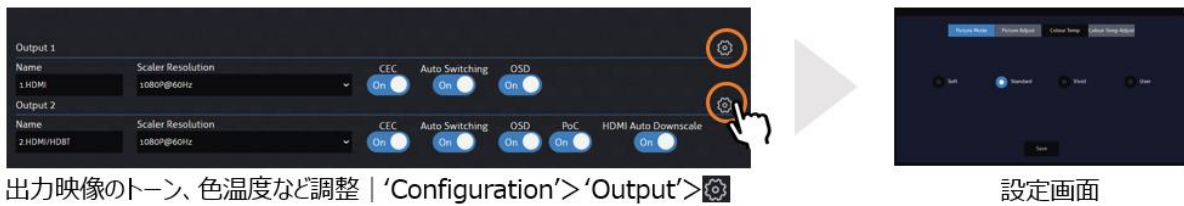
出力フォーマット

出力フォーマット設定 | 'Configuration' > 'Output'

出力	設定項目	説明	設定値
Output 1 (HDMI 1出力)	Name	チャンネル名を変更します。	12 桁までの半角英数符号が入力可能
	Scaler Resolution	出力フォーマットを設定します。	1024x768@60Hz / 1280x800@60Hz / 1360x768@60Hz / 1440x900@60Hz / 1680x1050@60Hz / 1920x1200@60Hz / 720p@50Hz / 720p@60Hz / 1080p@50Hz / 1080p@60Hz / 4K2K@30Hz / 4K2K@50Hz / 4K2K@60Hz
	CEC	本機のウェブ GUI から HDMI 1出力への CEC コマンド送信を有効/無効に設定します。	On: 送信可能 Off: 送信不可
	Auto Switching	自動切り替えを有効/無効に設定します。	On: 自動切り替え Off: 手動切り替え
	OSD	OSD 表示を有効/無効に設定します。	On: 表示可能 Off: 非表示
Output 2 (HDMI 2出力 及び HDBT 出力)	Name	チャンネル名を変更します。	12 桁までの半角英数符号が入力可能
	Scaler Resolution	出力フォーマットを設定します。	1024x768@60Hz / 1280x800@60Hz / 1360x768@60Hz / 1440x900@60Hz / 1680x1050@60Hz / 1920x1200@60Hz / 720p@50Hz / 720p@60Hz / 1080p@50Hz / 1080p@60Hz / 4K2K@30Hz / 4K2K@50Hz / 4K2K@60Hz
	CEC	本機のウェブ GUI から HDMI 2 出力及びHDBT出力への CEC コマンド送信を有効/無効に設定します。	On: 送信可能 Off: 送信不可
	Auto Switching	自動切り替えを有効/無効に設定します。	On: 自動切り替え Off: 手動切り替え
	OSD	OSD 表示を有効/無効に設定します。	On: 表示可能 Off: 非表示
	PoC	HDBaseT 受信機への PoC 電源供給を有効/無効に設定します。	On: 電源供給する Off: 電源供給しない(HDBaseT 受信器に AC アダプターで電源供給する必要があります)
HDMI Auto Down Scale	HDMI 出力 2 及び HDBaseT 出力のフォーマットは接続ディスプレイ機器に仕様に合わせて、自動ダウンスケーリングする機能を有効/無効に設定します。	On: 自動ダウンスケーリング Off: 設定した出力フォーマットの映像信号を出力する	

ウェブ GUI ‘Configuration’ > ‘Output’ 設定メニューで各出力映像のトーン、色温度を調整できます。

アクセス方法



出力映像のトーン、色温度など調整 | ‘Configuration’>‘Output’>

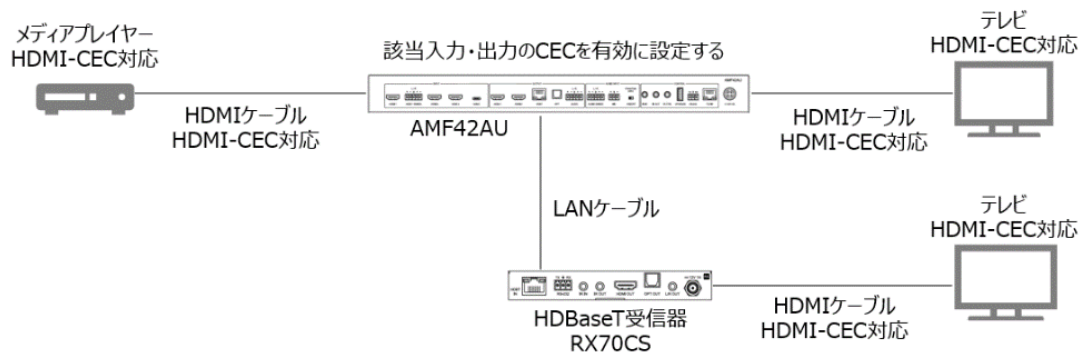
設定画面

設定項目

設定項目	説明	設定値
Picture Mode	出力映像のトーンモードを設定します。	Soft: ソフトモード Standard: スタンダードモード Vivid: ビビッドモード User: ユーザーモード
Picture Adjust	出力映像の輝度、コントラストを調整します。 ※ ‘Picture Mode’ を ‘User’ に設定した後、‘Picture Adjust’ メニューにアクセスできます。	Brightness: 輝度 調整範囲:0~99(初期設定値:50) Contrast: コントラスト 調整範囲:0~99(初期設定値:50)
Colour Temp	出力映像の色温度モードを設定します。	Warm: ウォーム(暖)色モード Standard: スタンダード色モード Cool: クール(冷)色モード User: ユーザーモード
Colour Temp Adjust	出力映像の色温度を調整します。 ※ ‘Colour Temp’ を ‘User’ に設定した後、‘Colour Temp Adjust’ メニューにアクセスできます。	Red(赤): 調整範囲:0~255(初期設定値:128) Green(緑):調整範囲:0~255(初期設定値:128) Blue(青): 調整範囲:0~255(初期設定値:128)

HDMI-CEC コマンド送信

ウェブ GUI 'CEC' 設定メニューから、接続する各入出力機器に CEC コマンドを送信することができます。



注意

本機のウェブ GUI から送信される HDMI-CEC コマンドが入力ソース機器、出力ディスプレイ機器で動作するには、該当入出力チャンネルの 'CEC' を有効に設定したうえ、HDMI-CEC 対応の各デバイス間を HDMI-CEC 対応 HDMI ケーブルで接続する必要があります。また、メディアプレイヤーやテレビメーカーが独自に HDMI-CEC 連携機能を設定(定義)している場合は、本機のウェブ GUI から送信される HDMI-CEC コマンドが動作しないことがあります。各デバイスの HDMI-CEC 対応状況については、各メーカーにお問い合わせください。

入力ソース機器向け CEC コマンド送信画面

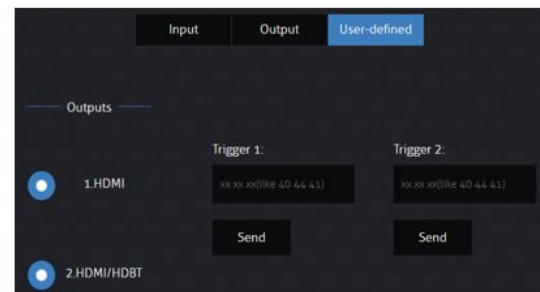


入力端子に接続する機器にCECコマンドの送信設定メニュー | 'CEC'>'Input'

出力ディスプレイ機器向け CEC コマンド送信画面



出力端子に接続する機器にCECコマンドの送信設定メニュー
'CEC'>'Output'



出力端子に接続する機器にCECコマンドの送信設定メニュー
'CEC'>'User-defined'

本機のウェブ GUI で CEC コマンド送信する手順

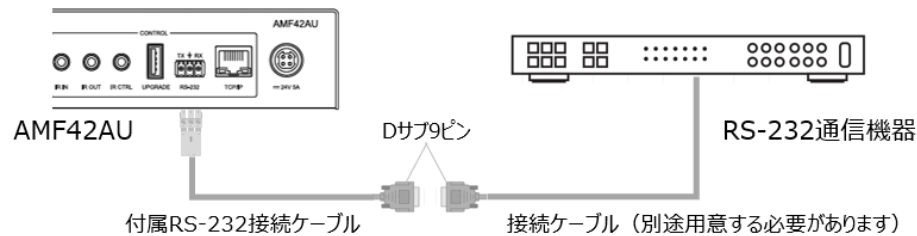
1. 入力/出力チャンネルを選択
2. 送信したい CEC コマンドをクリック、または User-defined 画面で直接入力し、'Send' ボタンをクリック

RS-232 コマンド送信

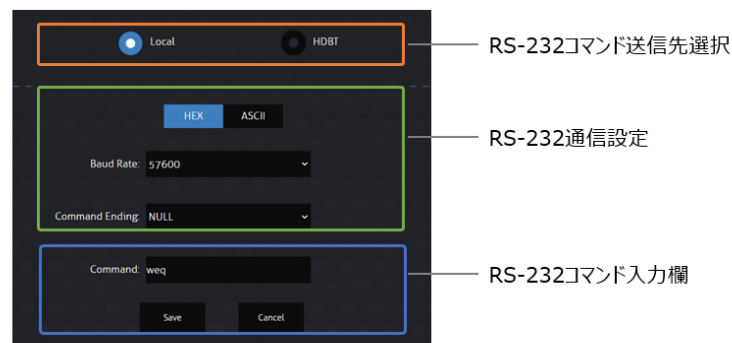
ウェブ GUI 'RS232' 設定メニューから、RS-232 コマンドを送信することができます。本機に接続された RS-232 対応機器のデバッグや故障診断などにご利用できます。

RS-232 コマンドを下記 2 つの機器に送信することができます。

- 'Local'：本機背面にある RS-232 通信端子及び HDBaseT 受信器の RS-232 通信端子経由での送信
接続図



ウェブ GUI 操作画面



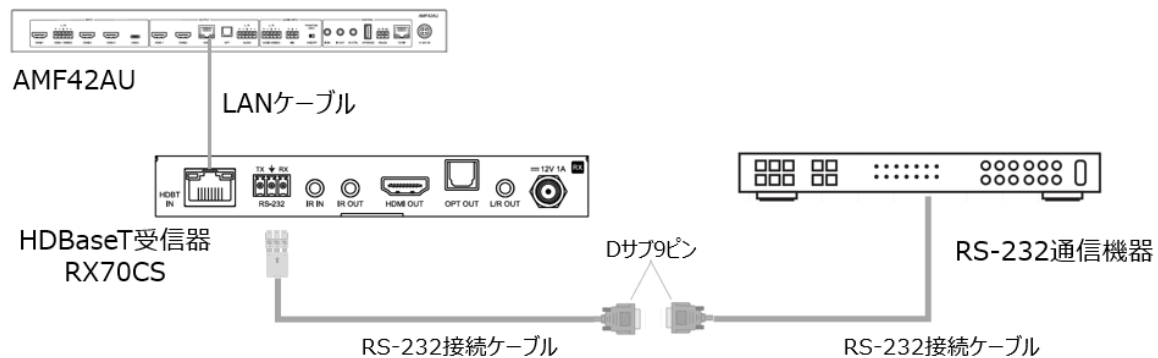
RS-232コマンド送信 | 'RS232'>'Local'

操作手順

1. RS-232 送信先を 'Local' を選択
2. RS-232 通信設定項目を設定
 - コード種類 (HEX/ASCII)
 - ボーレート (9600/19200/38400/57600/115200)
 - コマンドエンディング (NULL/CR/LF/CR+LF)
3. コマンド入力欄にコマンドを入力し、'Save' をクリック

- ‘HDBT’：本機に接続されている HDBaseT 受信器の RS-232 通信端子経由での送信
本機の電源オン/オフ時に RS232 コマンドを自動的に送信するよう設定することができます。

接続図



ウェブ GUI 操作画面



RS-232 コマンド送信 | ‘RS232’>‘HDBT’

操作手順

1. RS-232 送信先を ‘HDBT’ を選択
2. RS-232 通信設定項目を設定
 - コード種類 (HEX/ASCII)、
 - ボーレート (2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200)、
 - コマンドエンディング (NULL/CR/LF/CR+LF)
3. コマンド入力欄にコマンドを入力し、‘Send’ をクリック
 - User Command 1~5: RS-232 On 用コマンド
 - User Off Command: RS-232 Off 用コマンド

※ コマンド入力欄にコマンドを入力した後、‘RS232 On’、‘RS232 Off’ 設定項目が連動して、オンになります。

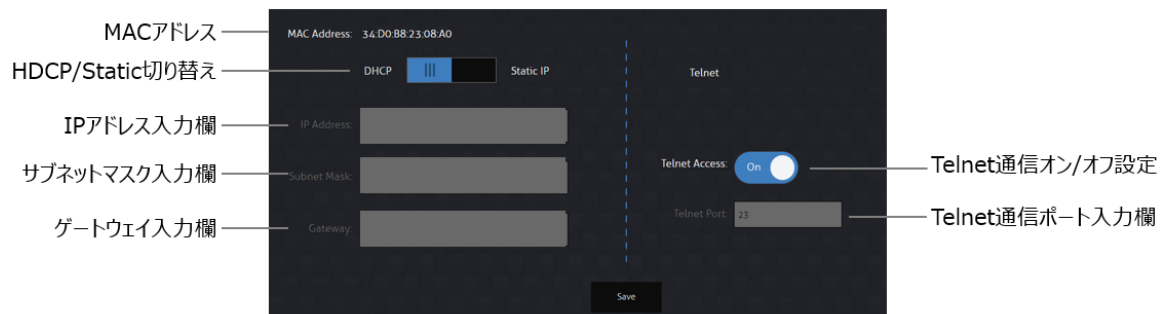
他の設定項目説明

設定項目	説明	設定値
RS232 On	本機を電源オンする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由で送信する RS-232 コマンドを無効に設定します。	On:有効 (RS-232 コマンド入力欄連動) Off:無効
RS232 Off	本機を電源オフする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由で送信する RS-232 コマンドを無効に設定します。	

System on/off trigger	本機を電源オフする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由で送信する RS-232 コマンドの繰り返し送信回数を設定します。	1~2 回
Same Command Delay	HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由で同じ RS-232 コマンドを送信する間隔時間を設定します。	1~200 秒
Different Command Delay	HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由で異なる RS-232 コマンドを送信する間隔時間を設定します。	1~200 秒

ネットワークの設定

ウェブ GUI 'Network' 設定メニューで本機のネットワーク設定の確認及び変更を行います。設定変更した後、'Save' をクリックし、新しい設定を適用します。



ネットワーク設定 | 'Network'

- ※ IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを変更するには、こちらの設定メニューで 'Static IP' に設定してから変更してください。
- ※ DHCP サーバーから IP アドレスが割り当てられた状態で DHCP をオフに設定すると、割り当てられていた IP アドレスがそのまま引き継がれます。(初期設定値である 192.168.0.200 には戻りません)

本機ファームウェアバージョン情報の確認

ウェブ GUI 'About' 設定メニューで本機のファームウェアバージョン、GUI バージョン情報を確認できます。



ネットワーク設定 | 'Network'

ウェブ GUI ログインアカウント操作権限の設定

本機のウェブGUIのログインアカウントは下記 3 種類があります。

アカウント種類	アクセス設定できるウェブ GUI メニュータブ									
	Control	Audio	Configu ration	CEC	RS232	Network	About	Admin	Power	
管理者 (Admin)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ゲスト (Guest)	○	○	X	X	X	X	X	X	X	○
ユーザー1~8 (User1~8)	○	○	○	○	○	○	○	○	一部	○

※ ゲスト(Guest)アカウントはログインユーザー名、パスワードの入力は要求されずに、本機のウェブ GUI にアクセスすると最初に表示されます。

管理者(Admin)ログインアカウントの設定

管理者(Admin)のログインユーザー名、パスワードは、ウェブ GUI ‘Admin’ > ‘Admin Credentials’ 設定メニューで変更できます。ページ下部にある ‘Save’ をクリックすると、新しい設定が適用されます。

‘Admin’>‘Admin Credentials’

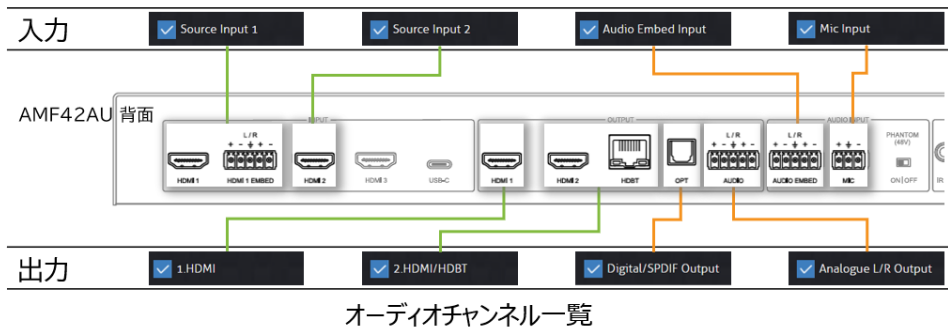
入力欄	説明
Name	ログインユーザー名を入力します。(12 桁までの半角英数符号)
Current Password	元のログインパスワードを入力します。(12 桁までの半角英数符号)
New Password	新しいログインパスワードを入力します。(12 桁までの半角英数符号)
Confirm New Password	再度新しいログインパスワードを入力します。(12 桁までの半角英数符号)

ゲスト(Guest)ログインアカウントの設定

ゲスト(Guest)ログインユーザー名、パスワードは、ウェブ GUI ‘Admin’ > ‘User Authorization’ 設定メニューで変更できます。ページ下部にある ‘Save’ をクリックすると、新しい設定が適用されます。

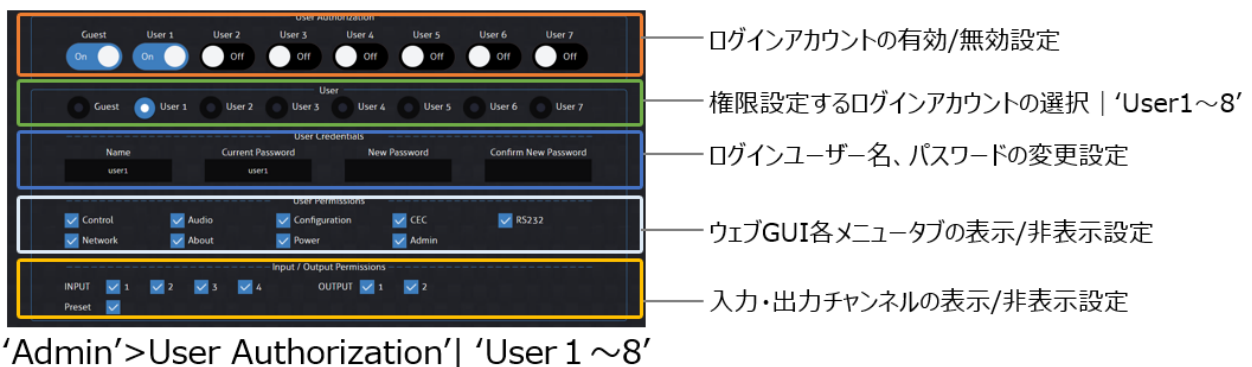
- ログインアカウントの有効/無効設定
- 権限設定するログインアカウントの選択 | ‘Guest’
- 入力・出力音量調整するチャンネルの表示/非表示設定 (下記のオーディオチャンネル一覧を参照)
- 本機電源ボタンの表示/非表示設定
- 入力・出力チャンネルの表示/非表示設定

‘Admin’>‘User Authorization’ | ‘Guest’



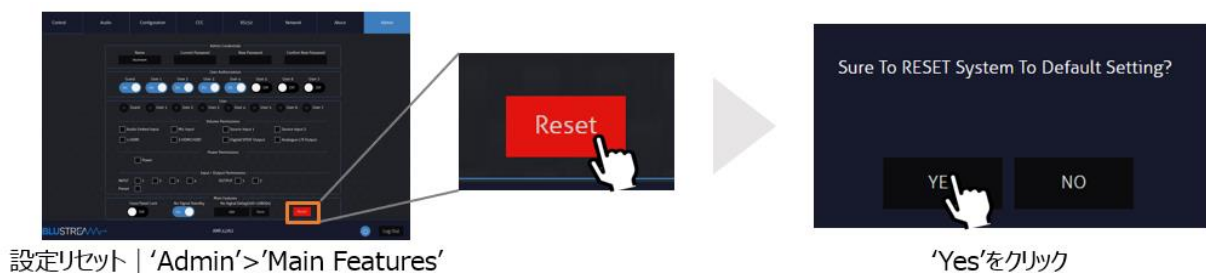
ユーザー1~8(User1~8)ログインアカウントの設定

ゲスト(Guest)ログインユーザー名、パスワードは、ウェブ GUI 'Admin' > 'User Authorization' 設定メニューで変更できます。ページ下部にある 'Save' をクリックすると、新しい設定が適用されます。



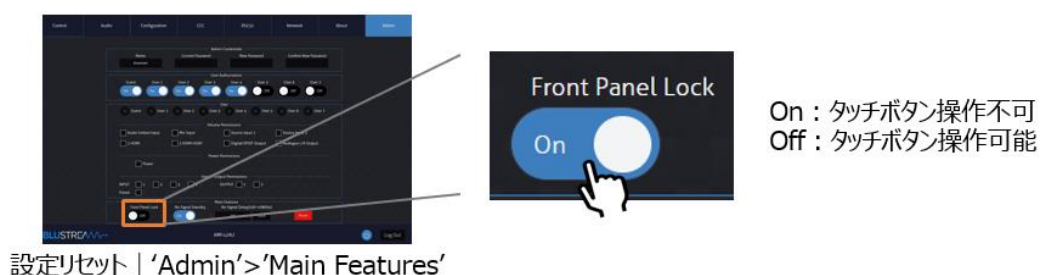
設定のリセット

ウェブ GUI 'Admin' 設定メニューで本機の設定を初期設定にリセットできます。



その他設定

本機の前面パネルのタッチボタンを有効/無効に設定する方法



無信号時スタンバイモードを有効/無効、ディレイ時間の設定方法



設定リセット | 'Admin' > 'Main Features'

On : 無信号スタンバイモード有効
Off : 無信号スタンバイモード無効

ディレイ時間設定 : 300~10800秒

RS-232 で操作する

シリアル通信設定値

RS-232 でのシリアル通信で制御します。

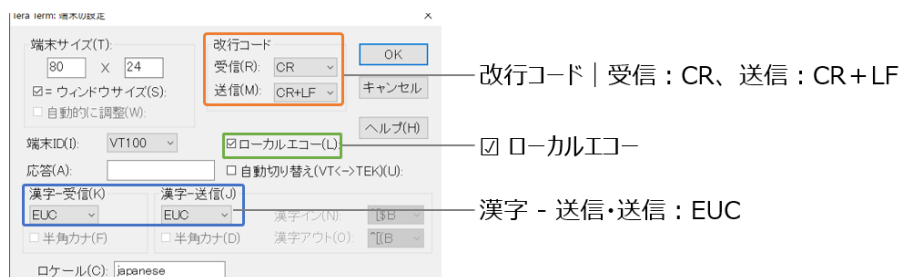
制御コマンドの一覧は本書「[RS-232 及び Telnet コマンド](#)」をご参照ください。

初期値は下記の通りです。

項目	設定値
ボーレート	57600
データビット	8 ビット
パリティ	なし(None)
ストップビット	1 ビット
フローコントロール	なし(None)

ターミナルエミュレータソフトウェア設定例(Tera Term)

ターミナルエミュレータ「Tera Term」を利用する場合は、以下のように設定をしてコマンド送信を行ってください。



'設定' > '端末'

改行コード | 受信 : CR、送信 : CR + LF

 ローカルエコー

漢字 - 送信・送信 : EUC



'設定' > 'シリアルポート'

ポート : 本機と接続するポート番号

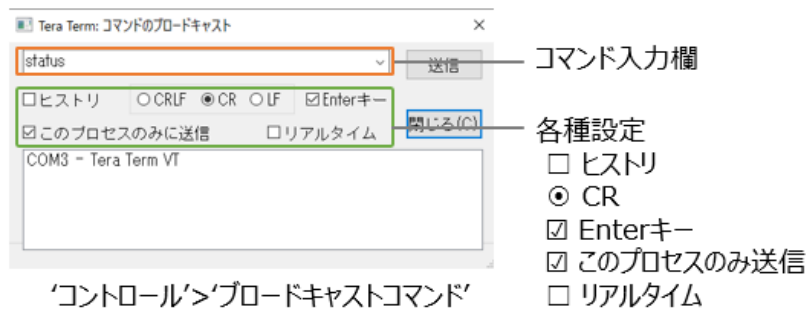
スピード : 57600

データ : 8 bit

パリティ : none

ストップビット : 1 bit

フロー制御(F) : none



RS-232 及び Telnet コマンド

本機は、シリアル通信及び、TCP/IP 通信経由で制御が可能です。利用可能なすべてのシリアルコマンドを以下のページに記します。

良くある失敗例

キャリッジリターン - ご利用になられるターミナルソフトウェアによっては、キャリッジリターン(改行)が必要、不要場合があります。一部のターミナルソフトウェアでは、トークン<CR>を使用してキャリッジリターンを実行するなど、ご利用になられるプログラムによって仕様が異なります。

- ・スペース(空白) - 本機はスペース(空白)を認識せず動作します。
例: '1' は '01' は同じとみなします。
 - 文字列のフォーマット: 'OUT01FR02'
 - サードパーティ制御システムのコマンド例: 'OUT{スペース(空白)}01{スペース(空白)}FR02'
- ・ボーレートまたはその他のシリアル通信プロトコルの設定間違い

システムインフォメーションコマンド

項目	送信コマンド	応答
コマンド一覧を取得する	?	コマンド '?'、'HELP' の応答例を参照してください
コマンド一覧を取得する	HELP	
システムステータス情報を取得する	STATUS	コマンド 'STATUS' の応答例を参照してください
入力信号情報を取得する	INSTA	コマンド 'INSTA' の応答例を参照してください
出力信号情報を取得する	OUTSTA	コマンド 'OUTSTA' の応答例を参照してください
制御情報を取得する	CTRLSTA	コマンド 'CTRLSTA' の応答例を参照してください
入出力音声情報を取得する	AUDSTA	コマンド 'AUDSTA' の応答例を参照してください

```

=====
AMF42AU Advanced Multi-Format Presentation Switcher
FW Version: V1.2
System Information Commands
?/HELP          Print Help Information
STATUS          Print System Status And Port Status
INSTA           Print All Input Status
OUTSTA          Print All Output Status
CTRLSTA        Print All Control Status
AUDSTA         Print All Audio Status
=====
System Control Commands
PON/OFF        Set System Power On Or Off
KEY ON/OFF     Set System Key Control On Or Off
NOSIGDLY xxxxx Set System Off Time To xxxxxx Seconds (300-10800s,Default 600s)
                When No HDMI Signal Has Been Detected, System Will Turn Off After Specified Time
NOSIGSTANDBY ON/OFF Set No Signal Standby On Or Off
RESET          Reset System To Default Setting
                Type "Yes" To Confirm, "No" To Discard
POCOUT ON/OFF  Set HDBT Output POC On Or Off
OUT xx MUTE ON/OFF Set Output xx Video Mute On Or Off
SWITCH xy     Set Output xx Auto Switching To
=====

```

コマンド‘?’、‘HELP’の応答例

```

=====
AMF42AU Advanced Multi-Format Presentation Switcher
FW Version: V1.2
Power ON      Key ON      Baud 57600  NoSigDly 600S
RS232RptCmd 1Times  RS232SameCmdDly 2S  RS232DiffCmdDly 7S  NoSigStandby OFF

InputPort  EdidIndex  Connected  Audio
1          Default_00 Yes         Original Signal
2          Default_00 Yes         Original Signal
3          Default_00 Yes         Original Signal
4          Default_00 Yes         Original Signal

OutputPort  SelectInput  OSP      Scaler  POC  Switch  Resolution  FollowToAudioOut  Vol  OSD  AudioSource
1           3            SNK     N/A     N/A  OFF     1080P@60Hz  SPDIF,Ana         100 ON  HDMI audio
2           3            SNK     Enabled N/A  OFF     1080P@60Hz  SPDIF,Ana         100 ON  HDMI audio
3 (ARC Rx)  3            SNK     N/A     ON   OFF     1080P@60Hz  SPDIF,Ana         100 ON  HDMI audio

OutputPort  PictureMode  Brightness  Contrast  ColourTemp  Red  Green  Blue  VideoMute
1           2            50          50        2            128  128   128   OFF
2           2            50          50        2            128  128   128   OFF
3 (ARC Rx)  2            50          50        2            128  128   128   OFF

AudembedVol  MicVol  AudioOutVol  Hdmi1SourceVol  Hdmi2SourceVol  AudioARC  AudioBalanced
100          100     100          100             100             OFF       OFF

AudioIn      MicAutoBG  MicBGVol  MicBGMute  MicBGDel  MicRUp  MicRDown
1           ON         30%      OFF         10 Sec   2.0 Sec 0.5 Sec
2           ON         30%      OFF         10 Sec   2.0 Sec 0.5 Sec

DHCP         IP          Gateway      SubnetMask
ON           192.168.057.072  192.168.057.003  255.255.255.000
Telnet      MAC
0023       34:D0:B8:23:08:A0

RS232ON Disabled
RS232OFF Disabled
=====

```

コマンド‘STATUS’の応答例

```

=====
AMF42AU Advanced Multi-Format Presentation Switcher
FW Version: V1.2
InputPort  EdidIndex  Connected  Audio
1          Default_00 Yes         Original Signal
2          Default_00 Yes         Original Signal
3          Default_00 Yes         Original Signal
4          Default_00 Yes         Original Signal
=====

```

コマンド‘INSTA’の応答例

```

=====
AMF42AU Advanced Multi-Format Presentation Switcher
FW Version: V1.2
OutputPort  SelectInput  OSP      Scaler  POC      Switch  Resolution      FollowToAudioOut  Vol  OSD  AudioSource
1             3           SNK     N/A     N/A     OFF     1080P@60Hz     SPDIF,Ana         100 ON   HDMI audio
2             3           SNK     Enabled N/A     OFF     1080P@60Hz     SPDIF,Ana         100 ON   HDMI audio
3 (ARC Rx)   3           SNK     N/A     ON      OFF     1080P@60Hz     SPDIF,Ana         100 ON   HDMI audio

OutputPort  PictureMode  Brightness  Contrast  ColourTemp  Red  Green  Blue  VideoMute
1             2             50          50         2           128  128   128   OFF
2             2             50          50         2           128  128   128   OFF
3 (ARC Rx)   2             50          50         2           128  128   128   OFF
=====

```

コマンド 'OUTSTA' の応答例

```

=====
AMF42AU Advanced Multi-Format Presentation Switcher
FW Version: V1.2
Power       Key      Baud  NoSigDly  RS232RptCmd  RS232SameCmdDly  RS232DiffCmdDly  NoSigStandby
ON          ON      57600 600S      1Times       2S                7S                OFF
DHCP       IP
ON         192.168.057.072  192.168.057.003  255.255.255.000
Telnet     MAC
0023      34:D0:B8:23:08:A0
RS232ON   Disabled
RS232OFF  Disabled
=====

```

コマンド 'CTRLSTA' の応答例

```

=====
AMF42AU Advanced Multi-Format Presentation Switcher
FW Version: V1.2
InputPort  EdidIndex  Connected  Audio
1           Default_00 Yes         Original Signal
2           Default_00 Yes         Original Signal
3           Default_00 Yes         Original Signal
4           Default_00 Yes         Original Signal

OutputPort  SelectInput  OSP      Scaler  POC      Switch  Resolution      FollowToAudioOut  Vol  OSD  AudioSource
1             3           SNK     N/A     N/A     OFF     1080P@60Hz     SPDIF,Ana         100 ON   HDMI audio
2             3           SNK     Enabled N/A     OFF     1080P@60Hz     SPDIF,Ana         100 ON   HDMI audio
3 (ARC Rx)   3           SNK     N/A     ON      OFF     1080P@60Hz     SPDIF,Ana         100 ON   HDMI audio

OutputPort  PictureMode  Brightness  Contrast  ColourTemp  Red  Green  Blue  VideoMute
1             2             50          50         2           128  128   128   OFF
2             2             50          50         2           128  128   128   OFF
3 (ARC Rx)   2             50          50         2           128  128   128   OFF

AudembedVol  MicVol  AudioOutVol  Hdmi1SourceVol  Hdmi2SourceVol  AudioARC  AudioBalanced
100          100      100          100             100             OFF       OFF

AudioIn      MicAutoBG  MicBGVol  MicBGMute  MicBGDel  MicRUp  MicRDown
1            ON         30%      OFF         10 Sec   2.0 Sec  0.5 Sec
2            ON         30%      OFF         10 Sec   2.0 Sec  0.5 Sec
=====

```

コマンド 'AUDSTA' の応答例

システムコントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
本機を電源オンする	PON	[SUCCESS] Set System Power On, Please Wait A Moment...	-
本機を電源オフする	POFF	[SUCCESS] Set system power OFF	-
本機のフロントタッチボタン操作を有効に設定する	KEY ON	[SUCCESS] Set Key On	-
本機のフロントタッチボタン操作を無効に設定する	KEY OFF	[SUCCESS] Set Key Off	-
本機が入力信号を検出しなくなってから自動的に電源オフになるまでの時間を設定する	NOSIGDLY xxxxx	[SUCCESS] Set NOSIGDLY To [xxxx] Second(s)	xxxxx=[00300~10800 秒] デフォルト=00600 秒

本機の本機が入力信号を検出しなくなつてから自動的に電源オフを有効に設定する	NOSIGSTANDBY ON	[SUCCESS] Set No Signal Standby To On	-
本機の本機が入力信号を検出しなくなつてから自動的に電源オフを無効に設定する	NOSIGSTANDBY OFF	[SUCCESS] Set No Signal Standby To Off	-
本機のすべての設定をリセットする	RESET	[SUCCESS] Reset System To Default Setting (Type "Yes" To Confirm, "No" To Discard)	Yes=実行 No= キャンセル

映像入出力コントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
HDBaseT 受信器への PoC 電源供給を有効する	POCOUTON	[SUCCESS] Set HDBT Output POC On	-
HDBaseT 受信器への PoC 電源供給を無効する	POCOUTOFF	[SUCCESS] Set HDBT Output POC Off	-
出力 xx の映像を黒画面にする ※ 音声は引き続き出力されま す。	OUT xx MUTE ON	[SUCCESS] Set Output [xx] Video Mute Off	xx=「00:すべての出力 01: HDMI 出力 1 02:HDMI 出力 2 (HDBaseT 出力 を含む)」
出力 xx の映像を元に映像に戻 す	OUT xx MUTE OFF	[SUCCESS] Set Output [xx] Video Mute On	
出力 xx のスイッチモードを yy (オート/マニュアル)に設定す る	OUT xx SWITCH yy	[SUCCESS] Set Output [xx] To [yy] Switching	xx=「00:すべての出力 01: HDMI 出力 1 02:HDMI 出力 2 (HDBaseT 出力 を含む)」 yy=「AUTO:オートスイッチングモード MAN:マニュアルスイッチングモード」
出力 xx の画質モードを設定す る	OUT xx PICTUREMODE mm	[SUCCESS] Set Output [xx] Picture Mode To [mm] Mode	xx=「01: HDMI 出力 1 02:HDMI 出力 2 (HDBaseT 出力 を含む)」 mm=「01:Soft(ソフト)モード 02:Standard(スタンダード)モ ード 03:Vivid(ビビッド)モード 04:User(ユーザー)モード」
出力 xx の輝度を調整する。 ※出力 xx の画質モードをユー ザーモードに設定してから、該 当出力の画質(輝度、コントラ ストなど)を設定できるように なります)	OUT xx BRIGHTNESS vv	[SUCCESS] Set Output [xx] Brightness Value To [vv]	xx=「01: HDMI 出力 1 02:HDMI 出力 2 (HDBaseT 出力 を含む)」 vv=「00~99 ※初期設定値=50」
出力 xx のコントラストを調整 する ※出力 xx の画質モードをユー ザーモードに設定してから、該 当出力の画質(輝度、コントラ ストなど)を設定できるように なります)	OUT xx CONTRAST vv	[SUCCESS] Set Output [xx] Contrast Value To [vv]	
出力 xx の映像色温度を設定す る	OUT xx COLOURTEMPERATURE mm	[SUCCESS] Set Output [xx] Colour Temperature To [mm] Mode	xx=「01: HDMI 出力 1 02:HDMI 出力 2 (HDBaseT 出力 を含む)」 mm=「01:Warm(ウォーム)色モード 02:Standard(スタンダード)色モ ード 03:Cool(クール)色モード 04:User(ユーザー)モード」
出力 xx の映像の赤色みを設定 する	OUT xx RED vv	[SUCCESS] Set Output [xx] Color Temperature Red To [vv]	xx=「01: HDMI 出力 1 02:HDMI 出力 2 (HDBaseT 出力 を含む)」

出力xxの映像の緑色みを設定する	OUT xx GREEN VV	[SUCCESS] Set Output [xx] Color Temperature Green To [vv]	vv=「0~255」※初期設定値=128
出力xxの映像の青色みを設定する	OUT xx BLUE vv	[SUCCESS] Set Output [xx] Color Temperature Blue To [vv]	
出力xxの解像度を設定する	OUT xx RES rr	[SUCCESS] Set Scaler Output [xx] To [rr]	xx=「00;すべての出力 01: HDMI 出力1 02:HDMI 出力2 (HDBaseT 出力を含む)」 rr=「出力解像度、詳細は下記の出力スケール設定フォーマット一覧を参照ください」
出力xxに入力yyのソースを割り当てる	OUT xx FR yy	[SUCCESS] Set Output [xx] Connect From Input [yy]	xx=「00;すべての出力 01: HDMI 出力1 02:HDMI 出力2 (HDBaseT 出力を含む)」 yy=「01:入力1 02:入力2 03:入力3 04:入力4」
現在の出力へのソース割り当てステータスをプリセットppに保存する	PRESET pp SAVE	[SUCCESS] Current Output Connection Preset [pp] Saved	pp=「01:プリセット1 02:プリセット2 03:プリセット3 04:プリセット4 05:プリセット5 06:プリセット6 07:プリセット7 08:プリセット8」
プリセットppの設定を呼び出す	PRESET pp APPLY	[SUCCESS] Current Output Connection Preset 01 Applied ※各出力へ割り当てているソースの情報を表示されます。	
プリセットppの設定を削除する	PRESET pp CLR	[SUCCESS] Current Output Connection Preset 03 Deleted	
入力yyのEDIDを設定する	EDID yy DF zz	[SUCCESS] Set Input 01 EDID With Default EDID 02	yy=「01:入力1 02:入力2 03:入力3 04:入力4」 zz=「EDID設定は下記の‘入力EDIDフォーマット一覧’を参照してください」
入力yyのEDIDを出力xxのEDIDをコピーする	EDID yy CP xx	[SUCCESS] Copy Output [yy] EDID To Input [xx]	xx=「00;すべての出力 01: HDMI 出力1 02:HDMI 出力2 (HDBaseT 出力を含む)」 yy=「01:入力1 02:入力2 03:入力3 04:入力4」
カスタムEDIDファイルを本体に読み込ませて保存する	EXTEDIDSAVE zz	[SUCCESS] Load the custom external UerEdid 01 from USB ... ※※読み込んで EDID を入力[xx]に適用する際、「[SUCCESS] Load the custom external UerEdid 01 from USB OK」という応答が表示されます。	zz=「08:User EDID 1 09:User EDID 2」 ※上記以外のパラメータのみ入力してください。

出力スケール設定フォーマット一覧表

rr	対応フォーマット	rr	対応フォーマット
00	1024x768@60Hz	01	1280x800@60Hz
02	1360x768@60Hz	03	1440x900@60Hz
04	1680x1050@60Hz	05	1920x1200@60Hz
06	720P@50Hz	07	720P@60Hz
08	1080P@50Hz	09	1080P@60Hz
10	4K2K@30Hz	11	4K2K@50Hz
12	4K2K@60Hz		

入力 EDID フォーマット一覧表

zz	対応 EDID	zz	対応 EDID
00	HDMI 1920x1080p@60Hz, Audio 2ch PCM(初期設定値)	01	HDMI 4K@30Hz 4:4:4, Audio 2ch PCM
02	HDMI 4K@60Hz 4:2:0, Audio 2ch PCM	03	HDMI 4K@60Hz 4:4:4, Audio 2ch PCM
04	DVI 1280x1024@60Hz, Audio None(音声なし)	05	DVI 1920x1080@60Hz, Audio None(音声なし)(音声なし)
06	DVI 1920x1200@60Hz, Audio None(音声なし)	07	HDMI 1920x1200@60Hz, Audio 2ch PCM
08	User EDID 1(ユーザーEDID 1)	09	User EDID 2(ユーザーEDID 2)
10	EDID Passthrough1 (EDID パススルー1 HDBaseT 受信器から EDID を読み込む)	11	EDID Passthrough2 (EDID パススルー2 HDMI 出力 1 から EDID を読み込む)
12	EDID Passthrough3 (EDID パススルー2 HDMI 出力 2 から EDID を読み込む)		

音声コントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
本機のアナログ/デジタルオーディオ出力にオーディオソースを割り当てる	AUD xx FR yy	[SUCCESS] Set [xx] To Follow Output [yy]	xx=「01: Analogue(アナログ、5 ピンターミナルブロック) 02: Digital(光デジタル)」 yy=「01: HDMI 出力 1 の音声 02: HDMI 出力 2 の音声 03: HDBaseT 受信器 HDMI ARC の音声 04: HDBaseT 受信器 光デジタル (Toslink) ARC の音声」
本機のアナログオーディオ出力をバランスに設定する	AUD xx BALANCED ON	[SUCCESS] Set Analogue Audio Output To Balanced	xx=「01: Analogue(アナログ、5 ピンターミナルブロック)」
本機のアナログオーディオ出力をアンバランスに設定する	AUD xx BALANCED OFF	[SUCCESS] Set Analogue Audio Output To Unbalanced	
HDMI 入力 1 の音声を専用外部入力(アナログ)音声に設定する	AUDSCAANA	[SUCCESS] Set Scaler Audio From Embed Analog L/R signal	-
HDMI 入力 1 の音声を HDMI オリジナル音声に設定する	AUDSCAORG	[SUCCESS] Set Scaler Audio From Original Signal	-
出力/入力 xx の音声をミュートオンに設定する	MUTE ON OUT xx	[SUCCESS] Set Output [xx] Audio Mute On	xx=「00:すべての出力 01: HDMI 出力 1 02: HDMI 出力 2 03: 光デジタルオーディオ出力 04: アナログオーディオ出力 05: 外部オーディオ入力(5 ピンターミナルブロック) 06: マイク入力(3 ピンターミナルブロック)」
出力/入力 xx の音声ミュートオフに設定する	MUTE OFF OUT xx	[SUCCESS] Set Output [xx] Audio Mute Off	
出力 xx の音量を vv に設定する	VOL vv OUT xx	[SUCCESS] Set Audio [xx] Volume To [vv]	vv=「00~100:音量 +:音量を 1 を上げる -:音量を 1 下げる」 xx=「01: HDMI 出力 1 の音量 02: HDMI 出力 2 の音量 04: アナログオーディオ出力の音量 (5 ピンターミナルブロック)」 ※光デジタルオーディオ出力の音量は接続するアンプ機器で調整してください)
外部アナログオーディオ入力音量を設定する	AUDEMBE VOL vv	[SUCCESS] Set AUDEMBED Audio Volume To [vv]	vv=「00~100:音量 +:音量を 1 を上げる -:音量を 1 下げる」
マイク入力音量を設定する	MIC VOL vv	[SUCCESS] Set Mic Audio Volume To [vv]	
出力 xx の音量を設定する	OUT xx HDMIVOL vv	[SUCCESS] Set HDMI OUT [xx] Source Audio Volume	xx=「00:すべての出力 01: HDMI 出力 1

		To [vw]	02:HDMI 出力 2 (HDBaseT 出力を含む) vw=「00~100:音量 +:音量を 1 を上げる -:音量を 1 下げる」
出力 xx 音声の種類を設定する	OUT xx MIX mm	[SUCCESS] Set [mm] Onto Output xx	xx=「00;すべての出力 01: HDMI 出力 1 02:HDMI 出力 2 (HDBaseT 出力を含む)」 mm=「01:HDMI Audio Only(HDMI 音声のみ) 02: Mic Audio Only(マイク入力音声のみ) 03:AUEMBED Audio Only (外部アナログオーディオ入力のみ) 04:HDMI Audio+Mic Audio (HDMI 音声とマイク音声のミックス) 05:AUEMBED Audio + Mic Audio(HDMI 音声と外部アナログオーディオ入力のミックス)」
バックグラウンド音声自動減衰をオンに設定する	MIC AUTOBG ON	[SUCCESS] Set Mic Auto Background Volume On	-
バックグラウンド音声自動減衰をオフに設定する	MIC AUTOBG OFF	[SUCCESS] Set Mic Auto Background Volume Off	-
バックグラウンド音声が減衰した時の音量を減衰前のppパーセントまで下げる	MIC BGVOL pp	[SUCCESS] Set Mic Background Volume To [pp]%	pp=[0~100:バックグラウンド音量のパーセント値]
マイク音声が無音になってからバックグラウンド音声の減衰を開始するまでの時間を設定する (この検出時間を過ぎた後、バックグラウンド音声が無音に徐々に戻ります)	MIC BGDEL dd	[SUCCESS] Set Mic Background Delay To [dd] Seconds	dd=[0~20:遅延時間、単位:秒]
バックグラウンド音声が無音の状態に戻る時間を設定する	MIC RUP rr	[SUCCESS] Set Mic Ramp Up To [rr] Seconds	rr=[0: 0 秒 1: 0.5 秒 2: 1.0 秒 3: 1.5 秒 4: 2.0 秒 5: 2.5 秒 6: 3.0 秒 7: 3.5 秒 8: 4.0 秒 9: 4.5 秒 10: 5.0 秒 11: 5.5 秒 12: 6.0 秒 13: 6.5 秒 14: 7.0 秒 15: 7.5 秒 16: 8.0 秒 17: 8.5 秒 18: 9.0 秒 19: 9.5 秒 20: 10.0 秒
バックグラウンド音声を減衰する時間を設定する	MIC RDOWN rr	[SUCCESS] Set Mic Ramp Down [rr] Seconds	

CEC コマンド設定コマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
出力 xx と接続する機器への CEC コマンド送信をオンに設定する	OUT xx CEC ENABLER	[SUCCESS] CEC ENABLED ON OUTPUT [xx]	xx=「00;すべての出力 01: HDMI 出力 1 02:HDMI 出力 2 (HDBaseT 出力を含む)」

出力 xx と接続する機器への CEC 送信をオフに設定する	OUT xx CEC DISABLE	[SUCCESS] CEC DISABLED ON OUTPUT [xx]	yy=[CEC対応ディスプレイ機器の入力ソース名、例:01]
出力 xx と接続する機器の入力ソース yy に切り替える	OUT xx CEC INPUT yy	[SUCCESS] CECOUT [xx] SELECT CHANNEL [yy]	
出力 xx と接続する機器に‘確定’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC OK	[SUCCESS] CECOUT [xx] OK	
出力 xx と接続する機器に‘上’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC UP	[SUCCESS] CECOUT [xx] IP	
出力 xx と接続する機器に‘下’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC DOWN	[SUCCESS] CECOUT [xx] DOWN	
出力 xx と接続する機器に‘左’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC LEFT	[SUCCESS] CECOUT [xx] LEFT	
出力 xx と接続する機器に‘右’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC RIGHT	[SUCCESS] CECOUT [xx] RIGHT	
出力 xx と接続する機器に‘戻る’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC RETURN	[SUCCESS] CECOUT [xx] MENU	
出力 xx と接続する機器に‘取消’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC EXIT	[SUCCESS] CECOUT [xx] MENU	
出力 xx と接続する機器に‘音量上げる’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC VOLUP	[SUCCESS] CECOUT [xx] VOLUME UP	
出力 xx と接続する機器に‘音量下げる’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC VOLDOWN	[SUCCESS] CECOUT [xx] VOLUME DOWN	
出力 xx と接続する機器に‘消音’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC MUTE	[SUCCESS] CECOUT [xx] MUTE	
出力 xx と接続する機器に‘再生’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC PLAY	[SUCCESS] CECOUT [xx] PLAY	
出力 xx と接続する機器に‘停止’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC STOP	[SUCCESS] CECOUT [xx] STOP	
出力 xx と接続する機器に‘一時停止’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC PAUSE	[SUCCESS] CECOUT [xx] PAUSE	
出力 xx と接続する機器に‘録画’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC RECORD	[SUCCESS] CECOUT [xx] RECORD	
出力 xx と接続する機器に“巻き戻し” CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC REWIND	[SUCCESS] CECOUT [xx] REWIND	
出力 xx と接続する機器に‘早送り’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC FF	[SUCCESS] CECOUT [xx] FAST FORWARD	
出力 xx と接続する機器に‘次の節に進む’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC FWD	[SUCCESS] CECOUT [xx] SKIP FORWARD	
出力 xx と接続する機器に‘前の節に戻す’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC BWD	[SUCCESS] CECOUT [xx] SKIP BACKWARD	
出力 xx と接続する機器に‘電源オフ’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC POWEROFF	[SUCCESS] CECOUT [xx] POWER OFF	
出力 xx と接続する機器に‘電源オン’ CEC コマンドを送信する	OUT xx CEC POWERON	[SUCCESS] CECOUT [xx] POWER ON	
出力 xx と接続する機器にユーザー定義 1/2 CEC コマンドを出力に送信する	OUT xx CEC USER aa bb cc dd	[SUCCESS] CECUSERCMD < aa bb cc dd >	aa=[01: User-Defined 1(ユーザー定義1 CEC コマンド) 02:User-Defined 2(ユーザー定義2 CEC コマンド)] bb cc dd=[CEC コマンド] ※ 各種機器の対応コマンドについては機器メーカーへお問い合わせください
入力 yy と接続する機器への CEC コマンド送信をオンに設定する	IN yy CEC ENABLE	[SUCCESS] CEC ENABLED ON INPUT [yy]	yy=[01:入力1 02:入力2 03:入力3 04:入力4]
入力 yy と接続する機器への CEC 送信をオフに設定する	IN yy CEC DISABLE	[SUCCESS] CEC DISABLED ON INPUT [yy]	

入力 yy と接続する機器に‘確定’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC OK	[SUCCESS] CECIN [yy] OK
入力 yy と接続する機器に‘上’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC UP	[SUCCESS] CECIN [yy] UP
入力 yy と接続する機器に‘下’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC DOWN	[SUCCESS] CECIN [yy] DOWN
入力 yy と接続する機器に‘左’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC LEFT	[SUCCESS] CECIN [yy] LEFT
入力 yy と接続する機器に‘右’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC RIGHT	[SUCCESS] CECIN [yy] RIGHT
入力 yy と接続する機器に‘戻る’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC RETURN	[SUCCESS] CECIN [yy] MENU
入力 yy と接続する機器に‘取消’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC EXIT	[SUCCESS] CECIN [yy] MENU
入力 yy と接続する機器に‘音量上げる’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC VOLUP	[SUCCESS] CECIN [yy] VOLUME UP
入力 yy と接続する機器に‘音量下げる’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC VOLDOWN	[SUCCESS] CECIN [yy] VOLUME DOWN
入力 yy と接続する機器に‘再生’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC PLAY	[SUCCESS] CECIN [yy] PLAY
入力 yy と接続する機器に‘停止’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC STOP	[SUCCESS] CECIN [yy] STOP
入力 yy と接続する機器に‘一時停止’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC PAUSE	[SUCCESS] CECIN [yy] PAUSE
入力 yy と接続する機器に‘録画’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC RECORD	[SUCCESS] CECIN [yy] RECORD
入力 yy と接続する機器に“巻き戻し” CEC コマンドを送信する	IN yy CEC REWIND	[SUCCESS] CECIN [yy] REWIND
入力 yy と接続する機器に‘早送り’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC FF	[SUCCESS] CECIN [yy] FAST FORWARD
入力 yy と接続する機器に‘次の節に進む’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC FWD	[SUCCESS] CECIN [yy] SKIP FORWARD
入力 yy と接続する機器に‘前の節に戻す’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC BWD	[SUCCESS] CECIN [yy] SKIP BACKWARD
入力 yy と接続する機器に‘電源オフ’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC POFF	[SUCCESS] CECIN [yy] POWER OFF
入力 yy と接続する機器に‘電源オン’ CEC コマンドを送信する	IN yy CEC PON	[SUCCESS] CECIN [yy] POWER ON

RS-232 通信設定コマンド

本機を電源オン/オフする時、接続する HDBaseT 受信器 RS-232 通信ポート(3 ピンターミナルブロック)経由で、RS-232 コマンド有効、無効、コマンドの定義を設定します。

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
本機 RS232 通信ポートを設定する	RS232BAUD z	[SUCCESS] Set RS-232 Baudrate To [z]	z=[0:115200 1:57600 2:38400 3:19200 4:9600] 初期設定値=57600
本機電源オンする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器	RS232ON DISABLE	[SUCCESS] Disable Automatic RS232ON Commands	-

経由送信する RS-232 コマンドを無効に設定する			
本機電源オンする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由送信する RS-232 詳細コマンドを設定する	RS232ON x:y:z:a	[SUCCESS] RS232ON [x]: [y]:[z]:[a] ※x:ユーザー定義コマンドスロット y:コマンド種類(ASCII/HEX) z:ボーレート a:詳細コマンド	x=[1:User 定義 RS-232 コマンド 1 2:User 定義 RS-232 コマンド 2 3:User 定義 RS-232 コマンド 3 4:User 定義 RS-232 コマンド 4 5:User 定義 RS-232 コマンド 5] y=[a:ASCII h:HEX] z=[1:2400 2:4800 3:9600 4:19200 5:38400 6:57600 7:115200] a=[例:40 40 40]
本機電源オフする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由送信する RS-232 コマンドを無効に設定する	RS232OFF DISABLE	[SUCCESS] Disable Automatic RS232OFF Commands	-
本機電源オフする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由送信する RS-232 詳細コマンドを設定する	RS232OFF y:z:a	[SUCCESS] RS232OFF [x]: [y]:[z]:[a]	x=[1:User 定義 RS-232 コマンド 1 2:User 定義 RS-232 コマンド 2 3:User 定義 RS-232 コマンド 3 4:User 定義 RS-232 コマンド 4 5:User 定義 RS-232 コマンド 5] y=[a:ASCII h:HEX] z=[1:2400 2:4800 3:9600 4:19200 5:38400 6:57600 7:115200] a=[例:40 40 40]
本機電源オフする時、HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由送信する RS-232 コマンドの繰り返し送信回数を設定する	RS232 RPTCMD x	[SUCCESS] Set RS232RPT Times [x]	x=[1~2、単位:回]
HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由で同じ RS-232 コマンドを送信する間隔時間を設定する	RS232 SAMECMD DLY ttt	[SUCCESS] Sys On/Off Send same cmd dly [ttt] Second(s) to display	ttt=[001~200、単位:秒] 初期設定値=002 秒
HDBaseT 受信器の RS-232 受信器経由で異なる RS-232 コマンドを送信する間隔時間を設定する	RS232 DIFFCMD DL Y ttt	[SUCCESS] Sys On/Off Send diff cmd dly 200 Second(s) to display	ttt=[001~200、単位:秒] 初期設定値=007 秒

ネットワーク設定コマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
本機の DHCP 機能を有効/無効に設定する ※1	NET DHCP ON/OFF	[SUCCESS]Set DHCP to ON/OFF . Use "NET RB" command or repower device to apply new config!!!	-
本機の IP アドレスを設定する ※1※2	NET IP xxx.xxx.xxx.xx	[SUCCESS]Set IP address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[IP アドレス] ※入力例:192.168.001.100
本機のゲートウェイを設定する ※1※2	NET GW xxx.xxx.xxx.xxx	[SUCCESS]Set gateway address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[ゲートウェイ] ※入力例:192.168.001.001
本機のサブネットマスクを設定	NET SM xxx.xxx.xxx.	[SUCCESS]Set gateway addr	xxx.xxx.xxx.xxx=[サブネットマスク]

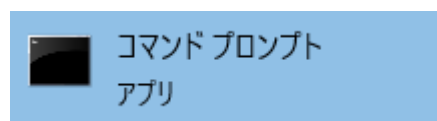
する ※1※2	xxx	ess to [xxx.xxx.xxx.xxx].	※入力例:255.255.255.000
ネットワーク設定をリポートし、 新しい設定を適用する	NET RB	-	
本機の Telnet 通信ポートを 設定する ※3	NET TN xxxx	[SUCCESS]Set telnet port t o [xxxx].	xxxx=[ポート番号] ※初期設定値=0023

- ※1 新しいネットワーク設定を適用するにはコマンド: NET RB でネットワーク設定をリポートする必要があります。
- ※2 本機の IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを設定する前に、本機の DHCP 機能を無効にする必要があります。
- ※3 本機と Telnet 通信を行う機器側の設定に合わせ、本機の Telnet 通信ポートを変更し、ご利用ください。

Windows PC での Telnet 通信を行う前の設定

本機を PC で制御する際に問題が発生した場合は、以下の手順で操作を試してください。
(Windows10 の操作を例に説明します。)

1. PC を本機の LAN 端子に直接 LAN ケーブルで接続します。
2. サードパーティ制御システムと本機が通信する環境を再現するために、PC の IP アドレスを本機の IP アドレスと同じセグメントに設定してください。(「[PC の設定 - IP アドレス固定方法](#)」をご参照ください。)
3. コマンドプロンプト 'cmd.exe' を立ち上げます。



4. コマンドプロンプトに次のコマンドを入力します。“Telnet ‘+ ’本機の IP アドレス”
例: Telnet 192.168.0.200

下記のレスポンスコードが表示される場合、本機との接続が確立していることを示します。

```
Please Input Your Command :
```

Telnet 通信エラー

下記のメッセージが表示される場合は、PC は本機と接続が確立されていないことを示します。
'telnet is not recognized as an internal or external command, operable program or batch file'

Telnet 通信エラーになる場合、下記の対策方法を試してください。

LAN 端子の IP アドレスが検知できない場合

LAN 端子の IP アドレスを検知できない場合は、DHCP モデムルーター経由ではなく、ネットワークスイッチに直接接続してください。

LAN 端子の IP アドレスは検知できるが、Telnet 通信が行えない場合

LAN 端子の IP アドレスを検知できない場合は、DHCP モデムルーター経由ではなく、ネットワークスイッチに直接接続してください。

上記の方法で Telnet 通信が確立されない場合は、PCのTFPT&Telnet を有効に設定してから、再度 Telnet 通信を試してください。（「[PCの設定 - TFPT&Telnet を有効にする](#)」をご参照ください。）

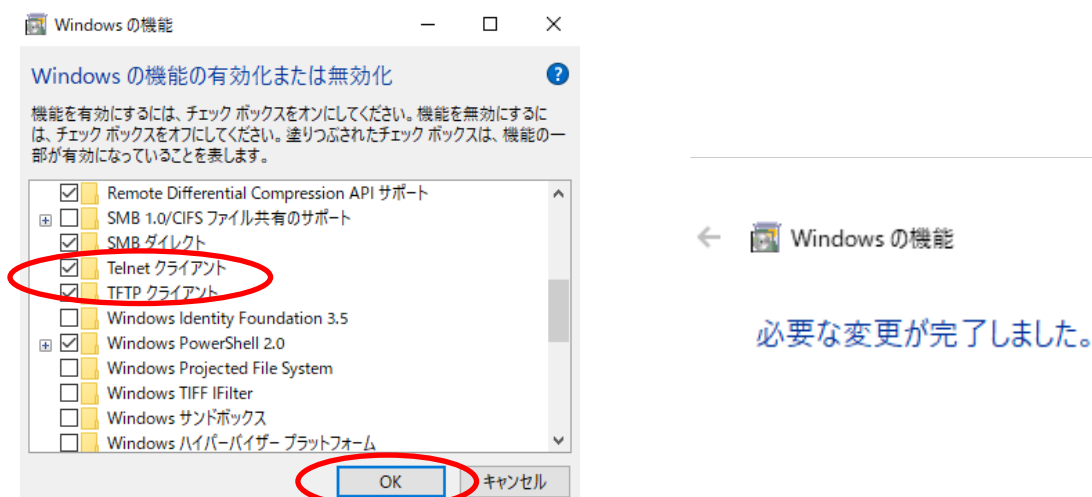
PC の設定 - TFPT&Telnet を有効にする

本機を Telnet でシリアル通信を行う前に、PC の TFTP と Telnet の両方の機能を有効に設定する必要があります。以下手順に従い TFTP と Telnet 機能を有効にしてください。(Windows 10)

1. PC のコントロールパネルを起動し、プログラム→プログラムと機能 の順に選択します。
2. 画面左側にある‘Windows の機能の有効化または無効化’を選択します。



3. ‘Windows 機能’ ポップアップ画面内の ‘Telnet Client’ 及び ‘TFTP Client’ にチェックを入れ、‘OK’ を選択します。



PC の設定 – IP アドレスの固定方法

本機との通信を確立するには、ご利用の PC の IP アドレスを本機の LAN 端子と同じ IP セグメントに設定されている必要があります。

初期 IP アドレス: 192.168.0.200

本機の IP アドレスは本体前面のディスプレイで確認できます。(確認方法は「」を参照してください)

PC の IP アドレス変更方法

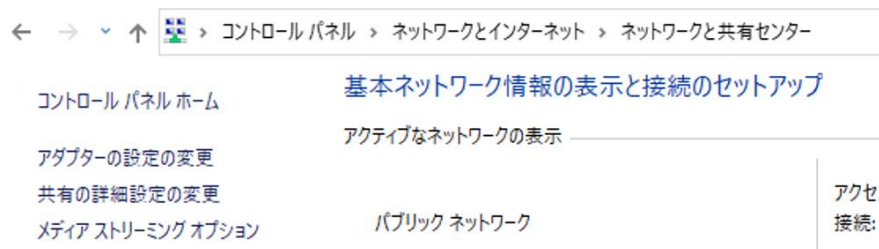
1. Windows ツールバーから‘コントロールパネル’を選択します。
2. ‘ネットワークインターネット’を選択します。



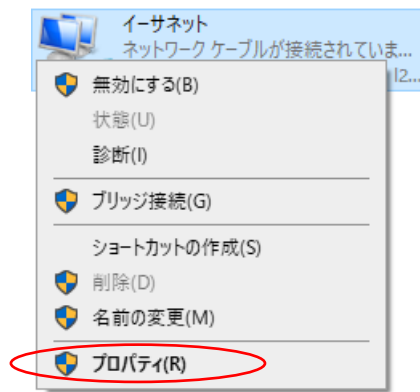
3. ‘ネットワークの状態とタスクの表示’を選択します。



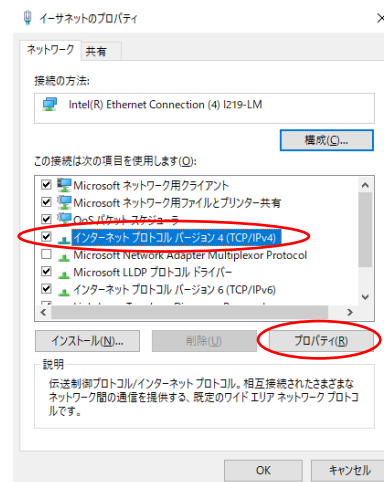
4. ‘アダプターの設定の変更’を選択します。



5. 'イーサネット' を右クリックし、'プロパティ' を選択します。



6. 'インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)' を選択し、'プロパティ' を選択します。



7. '次の IP アドレスを使う' にチェックを入れ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。'OK' → 'OK' の順に選択すると、新しい設定が適用されます。



FAQ よくある質問

故障かな?と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

HDMI 映像が入力されない

本機の対応するフォーマットではない映像を入力されている可能性があります。入力映像のフォーマットと本機の対応するフォーマットを確認してください。

HDMI 1入力に Dolby(または DTS)音声対応映像を入力したが、音が出ない

本機はドルビー音声に対応していません。ソース機器の音声を 2ch に設定してください。

出力映像が砂嵐のようになっている

映像信号が正常に送受信できていない可能性があります。映像ケーブルを差し直す、もしくは各映像機器の電源を一旦切り入りしてください。

USB-C で映像が入力されない

USB-C で映像を本機に入力するには、下記の条件を満たす必要があります。

- ご利用の PC の USB-C 端子が、DisplayPort Alt モード 1.2に対応している
- 本機の対応する映像フォーマットを出力することが可能な PC を利用する
- ご使用の USB-C ケーブルが、通信用 USB 3.2 Gen1 または Gen2 規格に対応している

IR リモコンの音量ボタンを押し続けても、音量は 1 しか変わらない

付属の IR リモコンは同じ繰り返し(連続)操作には対応していません。

USB-C から PC へ充電されない

PC 側が PD 充電に対応しているのかを PC メーカーに確認してみてください。

PC 側の USB-C ケーブルを一度抜き差ししてみてください。

新しい電池を交換したのに、IR リモコンが動作しない

本機付属の IR リモコン及び IR 受信ケーブルは5V で動作します。(12V には対応していません)

HDMI 出力でコンデンサーマイクの音量が小さい

本機は 5 ピンターミナルブロック(アナログオーディオ)出力または光デジタル(S/PDIF)出力端子をアンプに接続しスピーカーから音声を出力するという利用方法を想定した製品です。HDMI 出力でマイクの音量が小さい場合は、マイクアンプなどの機器でゲイン調整してご使用ください。

本体設定、IR リモコン設定値とウェブ GUI の設定値が一致しない

本体前面ボタン、IR リモコンで行った操作後のステータス情報がウェブ GUI に反映するまでに数秒間掛かります。最新の設定値は、ページの更新(Windows の場合、F5 キーを押す)をしてご確認ください。

本体のタッチパネルで操作ができない

タッチパネルの操作が無効になっている可能性があります。タッチパネルを有効に設定してください。詳しくは「[前面タッチボタン操作の有効/無効設定](#)」をご覧ください。

ARC が機能しない

- ① 専用 HdBaseT 受信器(RX70CS)前面の ARC スイッチがオンに切り替わっていますか。
 - ② 接続されているディスプレイ機器のHDMI入力端子はARCに対応していますか。
- ※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

CECが機能しない

- ① CEC 対応の HDMI ケーブルを使用していますか。
 - ② 接続されている機は CECに対応していますか。
- ※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

主な仕様

型番	AMF42AU	
入力端子	映像	HDMI x3 USB Type-C x1(映像入力専用)
	音声	5 ピンターミナルブロック x2(うち、HDMI 入力 1 専用 x1)※1 3 ピンターミナルブロック x1
出力端子	映像	HDMI x 2 ※1 HDBaseT x1※2
	音声	光デジタル TOSLINK(S/PDIF)x1 5 ピンターミナルブロック x1
HDCP	2.2/1.4 対応	
CEC	対応 ※3	
ARC	対応	
音声チャンネル	PCM 2ch	
その他端子	3.5mm モノラルジャック x2(IR 受信ケーブル用) 3.5mm ステレオジャック x1(IR 送信ケーブル用) 3 ピンターミナルブロック x1(RS-232 通信用) USB タイプ A(メス)x1(本体ファームウェアアップデート、EDID ファイル読み込み用) RJ-45 端子(TCP/IP 通信ウェブ GUI用)※4	
HDBaseT 伝送距離	1080p60 48bit Color 及びフル HD 信号で最大 70m 4K UHD@60(18Gbps)信号で最大 40m ※5	
PoC	対応(受信器への電源供給)	
電力入力	DC 24V / 5A	
消費電力	最大 120W	
動作温度	0~40℃	
保存温度	-20~60℃	
動作湿度	10% ~90%(結露なきこと)	
本体寸法(WxHxD)	437 mm x 264 mm x 44.5 mm(突起物含まず)	
本体重量	約 3,000g	
同梱物	AC アダプターx1 / 電源ケーブル x1 / 専用 IR リモコン x1 / IR 受信ケーブル x2 / IR 送信ケーブル x1 / RS-232 接続ケーブル x1 / 5 ピンターミナルブロック x3 / 3 ピンターミナルブロック x1 / 専用マウントブラケット(ネジ x6)一式 / 本体用足 x4(ネジ x4) / 注意事項・保証書 x1	
製品保証	ご購入日より 3 年間	
適合認証	FCC / CE / PSE(AC アダプター) / RoHS	

※1 HDMI 出力 1 端子、HDMI 出力 2 端子は異なる映像を出力できます。

※2 HDMI 出力 2 端子と同じ映像・音声を出力します。

※3 本機にウェブ GUI から送信される CEC コマンド及び伝送する CEC コマンドは、接続する機器によっては一部の操作ができない場合があります。

※4 RJ-45 ポートは 100Base-TX 仕様です。

※5 ご利用頂く環境によって異なります。

※ USB Type-C は DP1.2 及び Alt モードに対応しています。

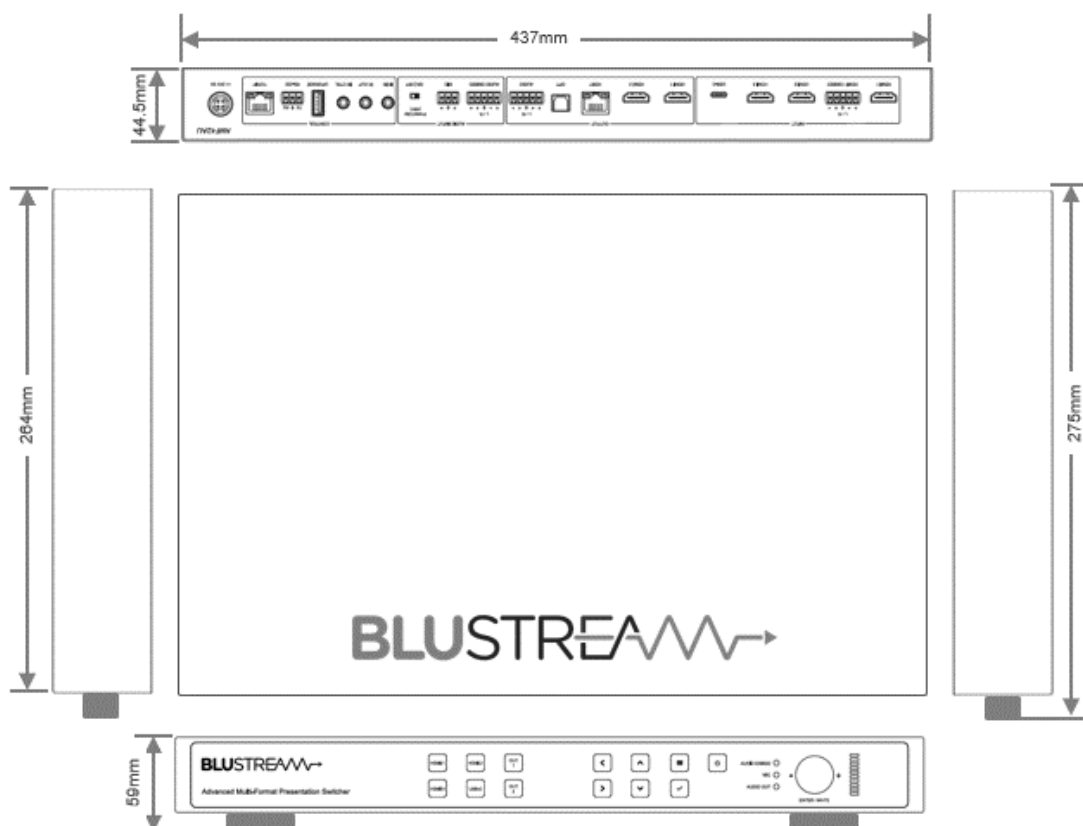
※ 入力された信号が 4K 4:2:2 フォーマットの場合、自動ダウンスケーリングは機能しません。

※ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

外形寸法



ラックマウント及び本体用足の取付方法

本機は付属のラックマウント取付キットを使用して EIA ラックマウントに取付することができます。

取付方法

付属の L 字マウントをネジ(付属)で下図の角度のように、本機の左右側面に取り付けます。

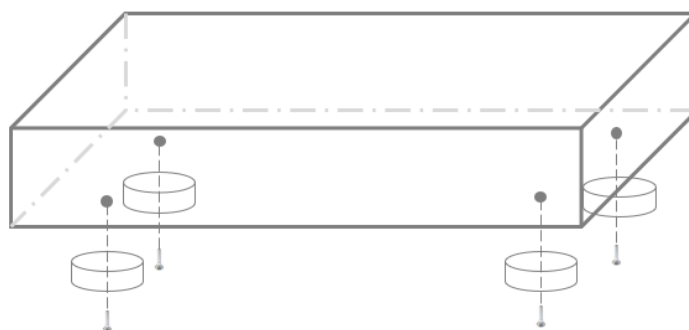


注意

- 通気性の良い場所に設置してください。
- 本機の上下左右パネルにある排熱口をふさがらないでください。
- 密閉型ラックに取り付けることを避けてください。
- 移動式ラックケースに取り付ける際、ケースの前後両面のふたを外し、本機の前後面をふさがないようにしてください。

付属足の取付方法

付属の足をネジ(付属)で下図のように、本機の底面に取り付けます。



サポート専用問い合わせ先

お問い合わせの前に…「FAQ よくある質問」をご参照ください。

www.ad-techno.com/support/info/faq/

お問い合わせの前に…「FAQ よくある質問」をご参照ください。

www.ad-techno.com/support/info/faq/

それでも解決しない場合：

製品のお問い合わせ： www.ad-techno.com/support/info/contact/

修理のご相談： www.ad-techno.com/support/service/contact/

お問い合わせの際は以下内容をご確認ください。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状など)

注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。